

年

ᆤᅜ

21 号

平成30年度

横浜市スポーツ医科学センター

横浜市スポーツ医科学センター年報(平成30年度)

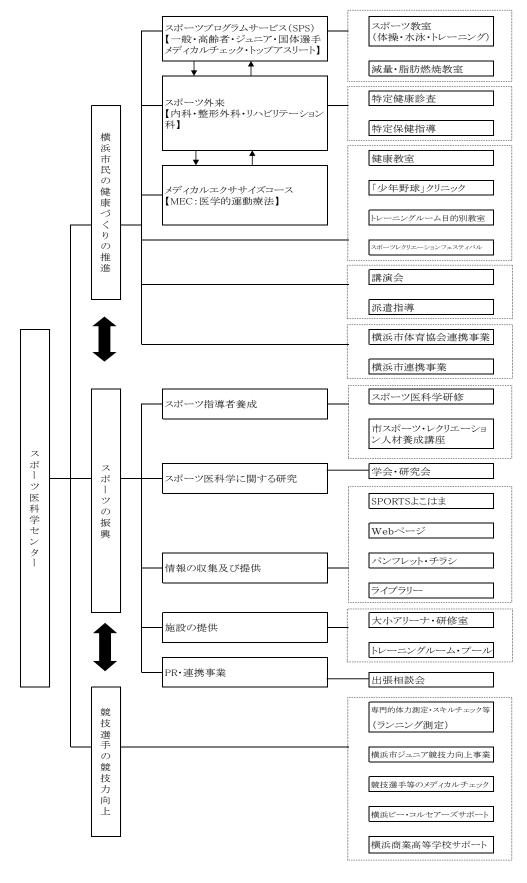
		目	次
1	施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	••••1
2	事業体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	••••2
3	事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	••••3
4	市民の健康づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	••••9
	(1) スポーツプログラムサービス(SPS)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	••••9
	(2) スポーツ外来・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••18
	(3) メディカルエクササイズコース(MEC)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••28
	(4) スポーツ教室・健康教室・目的別教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	30
	(5) 健康に関する講演事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	38
	(6) 市からの委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	38
5	スポーツ振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	39
	(1) スポーツ指導者養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • •	39
	(2) スポーツ医科学に関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••40
	(3)情報の収集及び提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••45
	(4) 施設の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••46
	(5) スポーツ大会、イベントでの PR・連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••48
6	競技選手の競技力向上事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••49
	(1) 専門的体力測定・スキルチェック等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••49
	(2) 横浜市ジュニア競技力向上事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••51
	(3)「横浜ビー・コルセアーズ」サポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	•••53
	(4)「横浜市立横浜商業高等学校スポーツマネジメント科」サポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	54

施設概要

横浜市スポーツ医科学センターの概要

12424112444	S科子センダーの似安
施設名称	横浜市スポーツ医科学センター
設置目的	スポーツ医科学に基づく、市民の健康づくりの推進、スポーツの振興及び競技選手の競技力の向上
所 在 地	横浜市港北区小机町 3302-5(日産スタジアム内 2 階東ゲート側)
延床面積	約 12, 300 m²
開設	平成 10 年 4 月 1 日
総工費	約 52 億円
運営費	799, 472 千円(平成 30 年度実績)
利用者数	313,966 人[ライブラリー等利用者合算値は 485,379 人] (平成 30 年度実績)
開館時間	平日(月曜日~土曜日) 午前9時~午後9時 日曜日、祝日 午前9時~午後5時
休 館 日	【休館日】年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)、【施設点検日】4 月~6 月及び 9 月~12 月は第 3 火曜日、1 月~3 月は第 3・第 4 火曜日 (祝日の場合は営業日とする)
実施事業	①スポーツプログラムサービス (SPS)②スポーツ外来・リハビリテーション③スポーツ指導者の養成・研修④スポーツ医科学研究⑤スポーツ医科学情報サービス⑥施設の提供
主な機器	等速性筋力測定装置、バイオフィードバッグトレーニング装置、三次元動作解析装置、床反力計測定システム、ハイスピードビデオ、ポリグラフシステム、磁気共鳴画像診断装置 (MRI)、X線画像診断装置 (CR)、X線骨密度測定装置、超音波診断装置、自動血球計数装置、生化学自動分析装置、多機能心電計
スタッフ	医師(内科・整形外科)、看護師、保健師、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、スポーツ科学員、運動指導員 等
主な施設	大アリーナ (大体育館)、小アリーナ (小体育館)、プール、トレーニングルーム、研修室、会議室、ライブラリー (図書館)、相談室、診療所 (診察室、理学療法室、体力測定室、運動負荷試験室)等
運営	公益財団法人横浜市体育協会(指定管理者)

横浜市スポーツ医科学センター事業体系図



1 横浜市スポーツ医科学センターの役割

横浜市スポーツ医科学センターは、スポーツ医科学に基づいた市民の健康づくりの推進とスポーツの振興および競技選手の競技力の向上を目的とした施設として、平成10年4月に開設された。

当センターでは、多くの市民が安全で効果的にスポーツを行えるように、スポーツ医科学に関するさまざまなサービスを提供している。

健康な生活を送るため、スポーツを生涯にわたり楽しむため、競技者としてより強くなるため、などの目的に合わせて利用することができる。

(1)横浜市民の健康づくりの推進

横浜市民一人ひとりが適切なスポーツ習慣をつけるよう支援する。

(2)スポーツの振興

健康づくりにつながるスポーツの振興に寄与する。

(3) 競技選手の競技力向上

スポーツ医科学に基づくトレーニング処方を作成して、アスリートをサポートする。

2 横浜市民の健康づくりの推進

(1)健康状態や体力に応じたスポーツプログラムの提供:スポーツプログラムサービス (SPS) 生活・栄養・運動習慣についての問診、運動・スポーツに先立つメディカルチェック (医学的検査) と、体力の現状を探るフィットネステスト (体力測定)を行い、総合的に健康・体力に応じた運動 (トレーニング)アドバイスやスポーツ医科学の最先端の知見に基づいた 運動処方をその日のうちに提供する。

このスポーツプログラムサービス (SPS) には、市民の健康・体力の向上をサポートする「一般・高齢者 SPS」、ジュニアスポーツ選手向けの「ジュニア SPS」、競技選手の競技力向上をサポートするより専門的な「トップ SPS」がある。

- (2) スポーツ外来
 - ①循環器内科 · 内科

一般的な内科系疾患の診療のほか、年々増加している生活習慣病(高血圧・高脂血症・糖尿病等)や循環器疾患(心筋梗塞・狭心症等)の諸症状改善や予防のために、内科のスポーツドクターが運動プログラムを処方する。また、スポーツ中に出現した内科系疾患や症状についても対応する。

②スポーツ整形外科・整形外科

小児から高齢者、一般市民からトップアスリートまで、スポーツによるケガや故障について、整形外科のスポーツドクターが診察・検査を行い、アスレティック・リハビリテーションを処方する。また、一般的な腰痛・肩こり・膝痛など日常生活におけるさまざまな整形外科的疾患に対して、運動プログラムを処方する。

③リハビリテーション科

スポーツ選手の外傷(急性・慢性)や成長期の障害、整形外科疾患に対する運動療法・物理療法のほか、トレーニングやフォーム・スキルチェックなども実施し、円滑なスポーツ復帰と再発予防を目的としたアスレティック・リハビリテーションを行う。また、日常生活における整形外科疾患に対する運動療法・物理療法を行い、痛みの軽減・緩和、機能回復のためのリハビリテーションを行う。

(3)メディカルエクササイズコース (MEC: 医学的運動療法)

内科的・整形外科的に何らかの疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方々を対象として、医師 (スポーツドクター) の運動処方に基づいて運動指導員が指導する、メディカルエクササイズコースを実施している。この MEC には、センター内のアリーナ (体育館) 等で実施するアリーナコースと 25m 室内温水プールで水中運動療法や水泳などを行うプールコースがある。

(4) 教室事業

市民の方々に日常的にスポーツを実践していただくため、通年事業として実施している「スポーツ教室」や、年間を数期に分けて定期的に実施する「健康教室」、個人の改善目的に合わせた「目的別教室」などの各種スポーツ実践事業を実施している。

(5)健康に関する講演会

横浜市内各区の福祉保健センターなどから依頼を受け、医師や管理栄養士などを派遣して 講演会を実施し、市民の方々へ健康に関する各種の情報を提供している。

(6) 連携事業

横浜市の委託事業等を実施している。

3 スポーツの振興

(1)研修・講習会の実施

横浜市からの依頼を受けて、横浜市立中学校の運動部活動を担当する教諭や地域のスポーツ指導者に対して、安全にスポーツ活動を実践・指導していただくことを目的として「スポーツ医科学研修」や「スポーツ指導者の養成講座」などを実施し、スポーツ医科学に関する基礎知識を教授している。

(2)スポーツ医科学に関する研究

スポーツ医科学に関する各種の研究を行い、その結果を論文などにして発表している。

(3)情報の収集及び提供

健康に関する各種情報を機関紙や Web ページなどで提供している。

(4) 施設の提供

施設貸出や個人利用を実施している。

(5) PR·連携事業

市民参加のイベント・大会等にスタッフが直接出向き、施設紹介及び理学療法士による個別無料相談を行っている。

4 競技選手の競技力向上

(1)競技選手の専門的体力測定

プロスポーツチームや各種競技団体等の指導者・選手などからの要望に応じて、パフォーマンスを向上させるためのより専門的な体力測定を実施している。

(2)横浜市ジュニア医科学向上事業

横浜市からの依頼を受けて、横浜市体育協会加盟団体の小学生から高校生に対して各種の体力測定等を実施し、その結果を分析して、トレーニング方法やケガの予防方法等を指導している。また、ジュニア指導者を対象にスポーツ医科学研修を実施している。

(3) 競技選手等のメディカルチェック

神奈川県内の国体選抜選手やプロスポーツ選手・アマチュアスポーツのトップ選手などに対して、スポーツメディカルに関する各種の検査を実施している。

(4) 連携事業

日産スタジアムイベントに連携した講座を実施している。

(5)競技チームへのサポート

プロスポーツチーム (バスケットボール) に整形外科医師、メディカルトレーナー (理学療法士) が帯同し、練習から試合までの全般的なサポートを行っている。

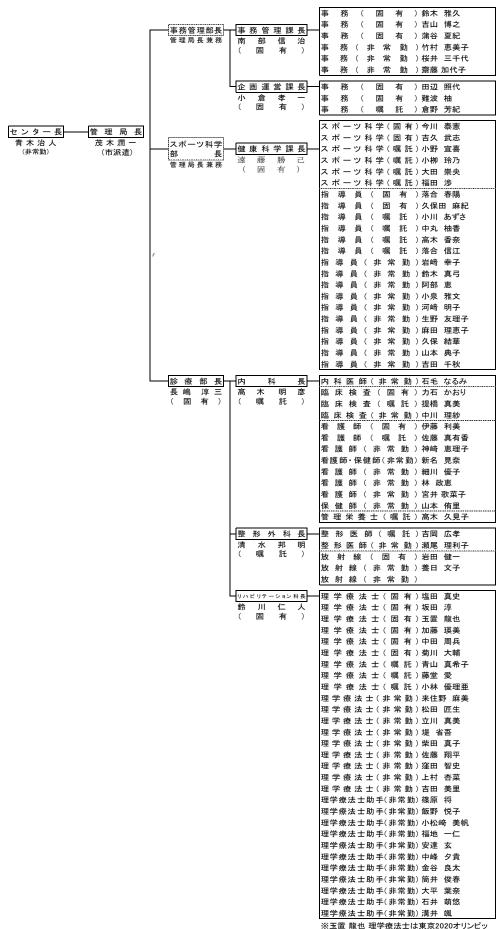
(6)学校へのサポート

横浜市立高等学校の教育内容及び競技力向上に向けた医科学サポートを行っている。

5 平成30年度の状況

(1)組織・	• 職負構成	凶・・	• • •	• •	• •	• •	•	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	別表	1
(2)年度別	川収支状況	(平成	26 年度	₹~ 3	0 年月	隻) •	•		•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	別表	2
(3)月別和	刊用状況・						•			•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	別表	3
(4) 年度別	川利用状況	(平成	26 年度	F ∼3	0 年月)。					•				•				•	•		別表	4

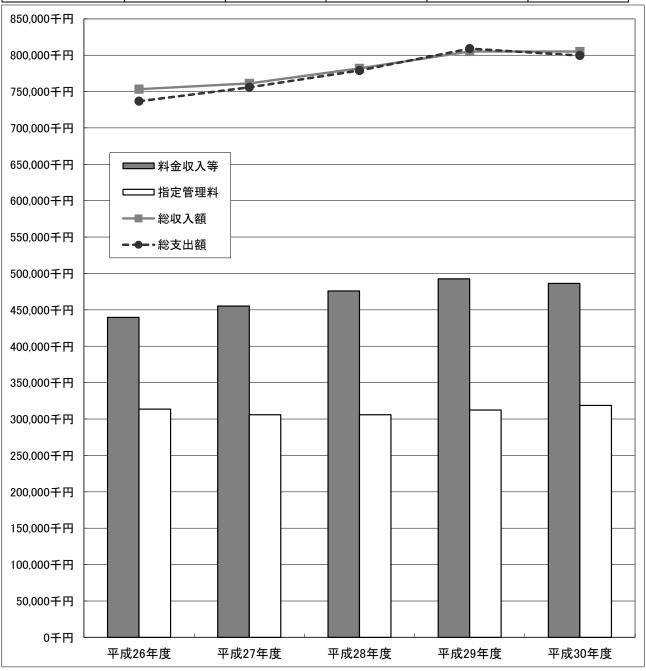
別表 1 組織·職員構成図



ク・パラリンピック組織委へ出向

別表 2 年度別収支状況(平成 26 年度~30 年度)

			15		_ 5
年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
料金収入等	439,695千円	455, 294千円	475,965千円	492,620千円	486, 453千円
指定管理料	313,668千円	305,973千円	305,900千円	312,482千円	318,660千円
総収入額	753,363千円	761,267千円	781,865千円	805, 102千円	805,113千円
総支出額	736, 769千円	755,822千円	778,938千円	809,010千円	799, 472千円
収 支 差	16,594千円	5,445千円	2,927千円	△3,908千円	5,641千円



別表 3 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
SPS		243	287	301	355	214	155	140	146	173	134	138	202	2, 488
	一般	88	138	120	74	97	81	67	83	64	105	53	46	1, 016
丰	高齢者	37	41	54	41	15	22	43	45	28	22	28	34	410
દ	ジュニア	118	105	64	87	70	52	21	4	76	7	57	122	783
1	国体 他	_	3	63	153	32	_	9	14	5	_	_	_	279
外来	;	7, 736	7, 543	7, 956	7, 119	7, 527	7,016	7, 644	7, 579	7, 020	6, 985	7, 194	8, 249	89, 568
Þ		293	322	311	278	312	324	383	422	323	293	318	324	3, 903
	内科外来	275	301	268	255	275	289	286	305	270	271	290	284	3, 369
	内科自費	7	12	31	18	28	27	91	107	46	15	21	25	428
	栄養相談	6	4	6	4	1	8	6	7	6	5	6	10	69
	特定保健指導	5	5	6	1	8	_	_	3	1	2	1	5	37
虫	整形外科	1,860	1, 782	1, 791	1,610	1, 780	1,556	1, 811	1, 683	1, 739	1, 717	1,651	1, 791	20, 771
	リハビリテーショ ン科	4, 357	4, 179	4, 502	4, 035	4, 113	3, 994	4, 219	4, 237	3, 920	3, 907	4,073	4, 872	50, 408
7	メディカルエクサ サイズ(MEC)	1, 226	1, 260	1, 352	1, 196	1, 322	1, 142	1, 231	1, 237	1, 038	1,068	1, 152	1, 262	14, 486
	利用	12, 453	12, 003	17, 270	13, 953	9, 017	9, 894	11, 120	10, 081	11,009	9, 162	10, 044	12, 456	138, 462
7	アリーナ	2, 909	2, 764	6, 638	3, 933	2, 058	2, 651	1, 863	2, 775	3, 863	2, 018	2, 164	3, 368	37, 004
石	肝修室・会議室	5, 045	4, 514	6, 244	4, 388	2, 174	2,639	4, 535	3, 127	3, 839	3, 321	4, 119	4, 318	48, 263
7	プール	2, 885	2, 969	2, 578	3, 754	2, 926	2, 788	2, 919	2, 414	1, 685	2, 117	2,044	2, 875	31, 954
1	トレーニングルーム	1, 614	1, 756	1, 810	1,878	1, 859	1,816	1, 803	1, 765	1,622	1, 706	1,717	1,895	21, 241
講座養成	・講演(指導者	_	_	440	82	81	220	317	_	_	_	420	_	1, 560
	管理事業 計	20, 432	19, 833	25, 967	21, 509	16, 839	17, 285	19, 221	17, 806	18, 202	16, 281	17, 796	20, 907	232, 078
アス	リート測定等	423	304	334	432	210	226	393	281	374	310	360	387	4, 034
フォ	ロー事業	5, 443	5, 393	5, 954	5, 198	5, 113	5, 635	5, 403	5, 448	4, 446	4, 916	5, 336	3, 025	61, 310
教室	・イベント事業	1, 142	1, 186	1, 067	1, 311	1, 180	1,513	2, 035	1, 221	665	970	1, 285	894	14, 469
その	他事業	20	497	72	100	60	150	640	127	130	14	104	161	2, 075
自主	事業 計	7, 028	7, 380	7, 427	7, 041	6, 563	7, 524	8, 471	7, 077	5, 615	6, 210	7, 085	4, 467	81, 888
事	業参加者合計	27, 460	27, 213	33, 394	28, 550	23, 402	24, 809	27, 692	24, 883	23, 817	22, 491	24, 881	25, 374	313, 966
	:考】													
	ブラリー・展示室	8, 816	9, 120	6, 706	6, 058	5, 563			3, 870		2, 904	2, 779	3, 065	59, 994
ギャ	ラリー	4, 469	4, 380	3, 759					-	10, 966	,	13, 042	9, 979	111, 419
	合 計	13, 285	13, 500	10, 465	10, 631	16, 079	19, 889	14, 751	15, 933	14, 173	13, 842	15, 821	13, 044	171, 413
施	設利用者総合計	40, 745	40,713	43,859	39, 181	39, 481	44, 698	42, 443	40,816	37, 990	36, 333	40, 702	38, 418	485, 379

別表 4 年度別利用状況(平成 26 年度~30 年度)

(単位:人)

						(平匹:八)
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
SPS	S	2, 927	3, 181	1, 700	2, 046	2, 488
	一般	1, 489	1, 470	723	759	1, 016
	高齢者	417	462	447	438	410
	ジュニア	577	805	440	624	783
	国体 他	444	444	90	225	279
外	来	84, 062	76, 746	81, 918	88, 565	89, 568
	内科	4, 796	4, 573	3, 753	3, 851	3, 903
	整形外科	21,652	18, 321	19, 822	21, 201	20, 771
	内科系運動療法	200	_	_	_	_
	リハビリテーション科	43, 483	39, 921	43, 266	48, 287	50, 408
	メディカルエクササイズ (MEC)	13, 931	13, 931	15, 077	15, 226	14, 486
施		123, 489	128, 422	130, 322	118, 268	138, 462
	アリーナ	36, 865	36, 818	35, 066	33, 567	37, 004
	研修室・会議室	50, 384	54, 140	54, 207	48, 309	48, 263
	プール	20, 307	19, 033	22, 429	15, 748	31, 954
	トレーニングルーム	15, 933	18, 431	18, 620	20, 644	21, 241
講	座・講演(指導者養成)	_	_	769	380	1, 560
	指定管理事業 計	210, 478	208, 349	214, 709	209, 259	232, 078
その	他事業 (内覧・ライブラリー等)	61,077	69, 618	_	_	_
ア	スリート/スキルチェック	6, 181	6, 025	5, 794	6, 174	4, 034
フ	オロー (教室等)	74, 552	77,600	64, 575	64, 004	61, 310
講	座・講演	2, 578	3, 094	13, 794	15, 453	14, 469
そ	の他事業	310	131	4, 218	2, 946	2,075
	自主事業 計	83, 621	86, 850	88, 381	88, 577	81, 888
4	事業 参加 者合計	294, 099	295, 199	303, 090	297, 836	313, 966
ラ	イブラリー・展示室			99, 964	96, 037	59, 994
ギ	ャラリー			79, 404	70, 784	111, 419
	合 計	61, 077	69, 618	179, 368	166, 821	171, 413
<u> </u>		1, - , ,	, -10	,	,	

[※]内科系運動療法(心リハ)は MEC と統合したため、平成 27 年度からカウントなし。

355, 176

施設利用者 総合計

364, 817

482, 458

464, 657

485, 379

[※]平成28(2016)年度より、内覧・ライブラリーは事業参加者数から除外し集計

[※]過年度ライブラリー・ギャラリーは合算値

4

市民の健康づくり推進事業

(1) スポーツプログラムサービス(SPS)

スポーツプログラムサービス(以下 SPS)は、これから運動を行おうと考えている方や継続的に運動を行っている方を対象とし、問診・メディカルチェック・体力測定等により健康状態や体力などを総合的に把握した上で、各個人に運動実践のための具体的な資料やアドバイスを提供するものである。これは対象者により、次の3つに分類される。

- ①一般市民を対象としたもの(以下一般 SPS)
- ②ジュニアスポーツ選手(小学生~高校生)を対象としたもの(以下ジュニア SPS)
- ③競技選手の競技力向上を対象としたもの(以下トップ SPS)

一般およびジュニア SPS のメディカルチェック・体力測定項目は表 1 に示した。一般 SPS で 実施している各項目の詳細については、参考として 13~16 ページに記載した。

一般 SPS はあらかじめ実施日を設定し、希望者からの予約を受付けている。また、団体利用については別途日程を調整している。ジュニア SPS は競技団体・学校・クラブチームなどの団体利用がほとんどであり、それぞれ日程を調整している。トップ SPS については、競技種目・競技レベル・目的などにより検査・測定項目が異なるため、依頼者と事前に内容や実施方法を協議した上で実施している。ジュニア・トップでも個人や少人数の場合には、効率化を図るため一般 SPS と一緒にして実施することもある。

表 1 SPS の検査・測定項目一覧

	検査・測定項目	, й ль		ジュニア	
	恢宜・ 例足切日	一般	高校生	中学生	小学生
	尿検査	0	0	0	0
	血液検査	0	0	0	_
	X 線検査(胸部)	0	○※1		
メディカル	呼吸機能検査	0	0	0	
チェック	安静時心電図検査	0	0	\circ	\circ
	内科診察	0	0	0	0
	運動負荷心電図検査	0	0	\circ	\circ
	骨量検査 (踵骨)	0	0	\circ	\circ
	食事調査 (問診表)	0	0	\circ	0
	身長・体重・BMI	0	0	\circ	0
 形態・	体組成 (体脂肪率)	0	0	\circ	0
// // // // // // // // // // // // //	骨年齢 (手部 X 線撮影)			○※1	○※1
产 加以 寸	皮脂厚(上腕後・肩甲骨・腹部)		0	\circ	0
	肩峰幅・腸骨稜幅・転子点高		0	\circ	0
	大腿部筋力 (膝伸展/屈曲)	0	0	0	0
	握力	0	0	0	0
	脚伸展パワー(両脚)	0	0	\circ	0
	ジャンプ力 (垂直跳び)	_	0	0	0
体力測定	全身持久力(運動負荷心電図検査)	0	0	\circ	0
	全身反応時間	0	0	\circ	0
	片脚バランス	0	0	0	0
	体前屈	0	0	\circ	0
	その他(オプション項目)		○※2	○※2	○※2

凡例 ○:実施 一:実施しない

※1 年1回実施(同一年内に複数回利用の場合、2回目以降は実施しない)

※2 必要に応じて実施(項目の詳細については割愛)

表 2 月別利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	91	82	102	99	74	71	76	104	66	53	79	70	967
ジュニア	118	105	64	87	70	52	21	4	76	7	57	122	783
トップ	34	100	135	169	70	32	43	38	31	74	2	10	738
合 計	243	287	301	355	214	155	140	146	173	134	138	202	2, 488

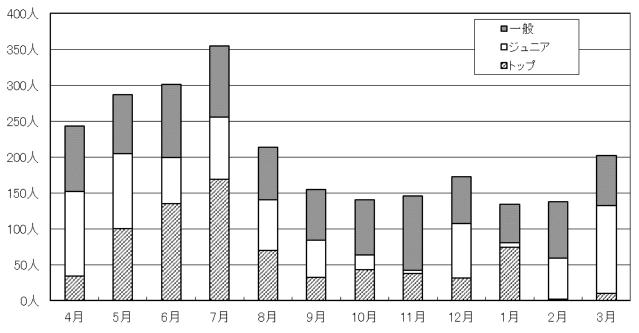


表 3 一般 SPS 年齡別·男女別利用者数

	~19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80歳~	111111
男性	1	6	6	12	18	18	33	22	24	29	55	45	50	28	347
女性	_	9	9	4	8	30	49	79	58	53	84	54	42	29	508
合計	1	15	15	16	26	48	82	101	82	82	139	99	92	57	855

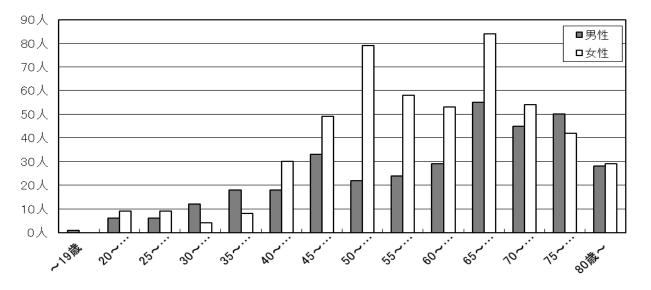


表 4 一般 SPS 曜日別利用者状況

個人のみ (団体利用除く)

	月曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
利用者数 (人)	112	124	135	121	156
実施日数 (日)	17	16	16	16	18
1日平均(人)	6. 6	7.8	8.4	7. 6	8.7
定員(人)	208	210	217	224	242
利用率(%)	53.8%	59.0%	62.2%	54.0%	64.5%

全利用者 (団体利用を含む)

	月曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
利用者数 (人)	154	175	250	197	189
実施日数 (日)	18	20	24	24	21
1日平均(人)	8. 6	8.8	10.4	8. 2	9.0
定員(人)	251	270	337	344	287
利用率(%)	61. 4%	64. 8%	74. 2%	57. 3%	65.9%

表 5 国体選手メディカルチェック月別利用者数

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	3	63	153	32	0	9	14	5	0	0	0	279

表 6 ジュニア SPS 学年別・男女別利用者数

	~/ʃ\4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男 性	34	29	56	93	85	92	64	127	41	621
女 性	5	4	5	3	11	10	29	78	17	162
合 計	39	33	61	96	96	102	93	205	58	783

	小学生	中学生	高校生
男 性	119	270	232
女 性	14	24	124
合 計	133	294	356

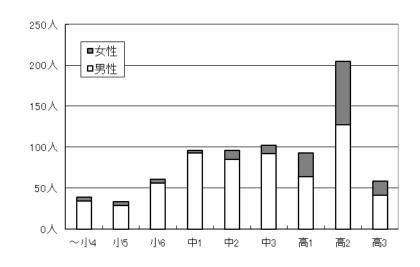


表 7 ジュニア SPS 種目別利用者数

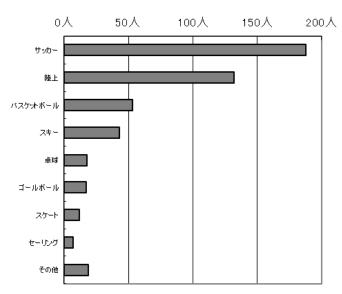
(単位:人)

		~小 4	小 5	小6	中1	中 2	中 3	高 1	高 2	高3	合計
	サッカー	30	26	53	48	45	41	22	28	2	295
	野球				27	10	10	18	41	22	128
	陸上		1		15	27	26	2	8	2	81
	バドミントン						3	14	16		33
男性	体操	3	1	3		2	3				12
性	水泳				1		1		7	1	10
	卓球							5	2	2	9
	バレーボール								9		9
	スキー						2		5	1	8
	その他	1	1		2	1	6	3	11	11	36
	スケート			1	1	3	2	2	6	2	17
	体操	3	3	3	1	1	3	2	1		17
	バドミントン							6	10		16
女性	ボート					2	4	6	2	1	15
性	陸上	2	1	1		3	_	3	4	1	15
	バスケットボール							1	13		14
	サッカー							1	10		11
	その他	0	0	0	1	2	1	8	32	13	57

表 8 トップ SPS 種目別利用者数

(単位・人)

		(中)	1生:人)
	男 性	女 性	合計
サッカー	188		188
陸上	82	50	132
バスケットボール	20	33	53
スキー	34	9	43
卓 球	11	7	18
ゴールボール		17	17
スケート	5	7	12
セーリング	3	4	7
その他	13	6	19
合 計	356	133	489



※メディカルチェックのみの利用者は含まない。

【参考】SPS 受診者用配布物①

スポーツプログラムサービス(SPS)で実施される医学的検査項目の内容と説明

1. 尿・血液検査《小学生の血液検査はありません》

◇尿検査について

来院後に採尿しますので、当日朝からがまんすることはありません。約50cc 必要です。

◇血液検査について

血液検査では、主に貧血の有無、肝障害、血清脂質、血糖、尿酸値を評価します。採血後は もまずに 5 分程しっかり抑えて下さい。腫れがみられるようであればおっしゃって下さい。ま た採血後皮下出血がみられることがありますが数日で吸収されます。各採血項目の詳細は別項 (右ページ:採血項目の詳細)をご覧下さい。結果に記載されている基準値は成人のものです。 判定欄の「L」は基準値未満を、「H」は基準値を越えることを意味します。

2. X 線検査《高校生以上は胸部レントゲン撮影、中学生以下は骨年齢》

◇胸部レントゲン撮影

胸部の正面のX線撮影です。肺、心陰影を検査します。検査にご質問がある方は当日スタッフにお伝え下さい。

◇骨年齢

左手を撮影し、骨の成熟度を評価します。成長期では同じ暦年齢でも発育の度合いが異なります。骨から現在の発育状況を評価し、適切なトレーニング指導を行うために実施します。

※いずれの検査も放射線検査ですので被曝します。人間の太陽光を含めた自然環境による被曝量は年間 2,400 マイクロシーベルト (μ Sv) で、これ以外に許容されている年間被曝量は、一般の人で 1,000 μ Sv とされています (例外もあります)。検査における被曝は撮影部位と散乱線による撮影部位以外の被曝がありますが、撮影部位の被曝量は、胸部撮影の胸壁で約 $100\,\mu$ Sv、骨年齢の左手で $10\,\mu$ Sv です。撮影部位以外の被曝は、胸部レントゲン撮影で、胸と同じ高さの平面で胸壁からななめ前方 $50\,\mathrm{cm}$ の場所で $1\,\mu$ Sv 以下です。骨年齢では、 $0.1\,\mu$ Sv 以下です。生殖器や目など、撮影部位から上下に離れれば更に少なくなります。健康に障害を生じる量は 1 回で全身に $250,000\,\mu$ Sv ($250\,\mathrm{mSv}$) 被曝した場合といわれており、今回の検査における被曝量は健康に支障のない程度と考えています。

3. 呼吸機能検査

肺活量と1秒量を測定し、%肺活量と1秒率を求めます。肺活量は、精一杯息を吸った後最大限にはいた息の量を、1秒量は精一杯息を吸った後できるだけ速く息をはき、最初の1秒間に排出された量から求めます。

%肺活量は肺活量を予測値(性別・年齢・身長より算出される値)で除し、100をかけることで求めます。1秒率は1秒量を肺活量で除し、100をかけた値で求めます。これにより肺の機能を評価します。

4. 安静時心電図, 運動負荷試験

心電図は、心臓の電気現象を体表から記録する検査です。これらの検査は、運動するにあたって心臓病がないか、またどの程度の運動能力があるかを調べるために行います。運動負荷試験は、安静時の心電図ではわからない心臓病を見つけるため、心電図、血圧を測定しながら運動(自転車エルゴメータ)を行います。運動中、気分が悪くなったり、もうできなくなったり、心電図や血圧に異常がみられましたら終了となります。専門医とスタッフが監視しながら安全に行いますが、検査中に不整脈や心筋梗塞が誘発されることがあります。これらは1万件に数件の割合と報告されています。

5. 食事調査

当日に提出していただく栄養問診から、1日の食事摂取量を概算します。また食品群別の摂取 バランスや3大栄養素のバランスを算出します。

6. 骨量検査(音響的骨評価テスト)

踵の骨に超音波をあて、①超音波の伝わる速さと、②超音波の減衰度合いから骨の状態(丈夫 さ、もろさ)を評価します。

採血項目の詳細

肝機能 す。 す。 GPT 主に肝細胞の障害を意味します。 LDH はぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 がって了り 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 でPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善をエコレステロールで動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 血糖 特尿病をしらべます。 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 のレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 のよりのよります。 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	条皿項目の計	十水川	
#	■尿検査		
一般他 一般検査	蛋白		主に腎臓病をしらべます。
中性脂肪	糖		
■血液一般検査 白血球数 知菌感染で増加します。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。 赤血球数 主に貧血の有無をみます。 ヘモグロビン 主に貧血の有無をみます。 血小板 止血作用があります。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	潜血		泌尿器系の出血をしらべます。
自血球数 細菌感染で増加します。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。 赤血球数 主に貧血の有無をみます。 ヘマトクリット 主に貧血の有無をみます。 血小板 止血作用があります。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。 ●血液生化学検査 業業状態 総蛋白 栄養状態、肝臓の働きを意味します。 をピリルビン 胆道系の異常、肝障害を意味します。 にのT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 のT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 はぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP に経生角の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害を心らべます。運動後では高値になることがあります。 がつGPT 担近系の異常、肝障害を意味します。青にも含まれるため成長期では素値になります。 が内の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 を出しステロール 善エコレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病 地球病をしらべます。 機関の進過機能を表ます。 不どのます。 のより に値は鉄欠乏状態を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 のより のより過機能をみます。 のより に値は鉄欠乏状態を表します。 のより で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発しとが高いたった。 のより のより のより のより のより のより のより のより のより のより のより <th< td=""><td>ウロビリノー</td><td>・ゲン</td><td>肝障害、胆道系の異常をしらべます。</td></th<>	ウロビリノー	・ゲン	肝障害、胆道系の異常をしらべます。
 赤血球数	■血液一般検	·查	
ペモグロビン 主に貧血の有無をみます。血色素とも呼ばれます。 ペマトクリット 主に貧血の有無をみます。 血小板 止血作用があります。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。 ■血液生化学検査 終業対態 終養対態 機どリルビン 胆道系の異常、肝障害を意味します。 GOT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 GPT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 LDH にほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害を高値になります。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 高値になります。 単性が障害をよく反映します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。また、過栄養性脂肪肝、アルコールを性肝障害をよく反映します。 筋肉の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 機場の 地域化を進めます。 糖尿病 無面が表すとしめます。 機場 本グロビン A1c 事エコレステロールで動脈硬化を進めます。 機場 本グロビン A1c お尿病を変します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 機能の適過機能をみます。 腎臓の適過機能をみます。 のよりにより 実施室業 腎臓の適過機能をみます。 のよりにより 実施の適過機能をみます。 のよりにより 実施の適過機能をみます。 のよりにより 実施の適過機能をみます。 のよりにより 実施の適過機能を必要す。 のよりにより 実施の適過機能を必要す。 <td>白血球数</td> <td></td> <td>細菌感染で増加します。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。</td>	白血球数		細菌感染で増加します。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。
ペマトクリット 血小板	赤血球数		主に貧血の有無をみます。
● 血液生化学検査 栄養状態 総蛋白 栄養状態、肝臓の働きを意味します。 一般では、高値は血液疾患を疑わせます。 一般では、高値は血液疾患を疑わせます。 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	ヘモグロビン	/	主に貧血の有無をみます。血色素とも呼ばれます。
■血液生化学検査 栄養状態 総蛋白 栄養状態、肝臓の働きを意味します。 総ビリルビン 胆道系の異常、肝障害を意味します。 GOT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 GPT 主に肝細胞の障害を意味します。 LDH ほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 方値になります。 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 作用防 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 旧比コレステロール コレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 旧比コレステロール 善をエコレステロールで動脈硬化を進めます。 間間 財産のステロールで動脈硬化を進めます。 無素至コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病 1か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血糖 がよの達します。 糖尿病を見しるより。 野機能 不必可達します。 方と発表変素 腎臓の濾過機能をみます。 方の障害 アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	ヘマトクリッ	·	主に貧血の有無をみます。
栄養状態 総蛋白 栄養状態、肝臓の働きを意味します。 60T 担道系の異常、肝障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 GOT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 LDH ほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 がってTP 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコールを性肝障害をよく反映します。 作性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 作性脂肪 アルコールの総和です。動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善エコレステロールで動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 大りロビン AIc 1か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	血小板		止血作用があります。異常低値、高値は血液疾患を疑わせます。
指摘 機どリルビン 胆道系の異常、肝障害を意味します。 GOT 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 GPT 主に肝細胞の障害を意味します。 LDH ほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 がって了P 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 施屋の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 施コレステロール カレステロールで動脈硬化を進めます。 IDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 へモグロビン Alc 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	■血液生化学	検査	
FT機能 主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります。 主に肝細胞の障害を意味します。 ALP 主に肝細胞の障害を意味します。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 がっGTP 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 を住所内に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 (日) コレステロール 事エコレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 (日) コレステロール 悪エコレステロールで動脈硬化を抑制します。 (日) コレステロール 悪エコレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 (株) 血精 低値は鉄欠乏状態を表します。 (株) 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 (株) の満過機能をみます。 アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	栄養状態	総蛋白	栄養状態、肝臓の働きを意味します。
肝機能 す。 す。 GPT 主に肝細胞の障害を意味します。 LDH はぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 がって了り 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 でPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善をエコレステロールで動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 血糖 特尿病をしらべます。 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 のレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 のよりのよります。 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		総ビリルビン	胆道系の異常、肝障害を意味します。
First High 主に肝細胞の障害を意味します。 LDH はぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 γ -GTP 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 商内の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善をエコレステロールで動脈硬化を進めます。 IDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 血糖 特尿病をしらべます。 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 所機 原素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 有尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		GOT	主に肝細胞の障害を意味します。また運動後では高値になることがあります
肝機能 LDH ほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害をしらべます。運動後では高値になることがあります。 ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 γ-GTP 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 筋肉の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善医コレステロールで動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 植尿病 糖尿病をしらべます。 本 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血精 株尿病 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 電尿酸血症 尿酸 産自過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		GPT	
ALP 主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では高値になります。 γ-GTP 胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール性肝障害をよく反映します。 筋肉の障害 CPK 主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善玉コレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 上DL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 へモグロビン Alc 体値は鉄欠乏状態を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 保値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 電白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	肝機能		ほぼ全身の細胞に含まれる酵素ですが、主に肝臓、肺、心臓などの障害を
所肉の障害 CPK 生に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。 中性脂肪 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 にを進めます。 総コレステロール 善玉コレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 上DL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 へモグロビン A1c 1か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎機の濾過機能をみます。 アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		ALP	主に胆道系の異常、肝障害を意味します。骨にも含まれるため成長期では
高脂血症 アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。 総コレステロール コレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善玉コレステロールで動脈硬化を抑制します。 LDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 へモグロビン A1c 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		γ -GTP	胆道系の異常、肝障害を意味します。また、過栄養性脂肪肝、アルコール 性肝障害をよく反映します。
高脂血症化を進めます。総コレステロールコレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。HDL コレステロール善玉コレステロールで動脈硬化を抑制します。LDL コレステロール悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。血糖糖尿病をしらべます。へモグロビン A1c1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。鉄血清鉄低値は鉄欠乏状態を表します。腎機能尿素窒素腎臓の濾過機能をみます。クレアチニン腎臓の濾過機能をみます。高尿酸血症尿酸蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	筋肉の障害	СРК	主に筋肉に含まれる酵素です。異常高値は筋肉の障害を意味します。
高脂血症 総コレステロール コレステロールの総和です。動脈硬化を進めます。 HDL コレステロール 善玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 LDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 へモグロビン A1c 計か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎機的 原素窒素 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 高尿酸血症 尿酸		中性脂肪	アルコール、カロリー過多で増加します。コレステロールとともに動脈硬化を進めます。
HDL コレステロール 善玉コレステロールで動脈硬化を抑制します。 LDL コレステロール 悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。 糖尿病をしらべます。 本モグロビン A1c 1か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 尿素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 エ自過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	高脂血症	総コレステロール	, = •
# 無尿病をしらべます。 本		HDL コレステロール	
糖尿病 へモグロビン A1c 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 腎機能 尿素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		LDL コレステロール	悪玉コレステロールで動脈硬化を進めます。
糖尿病 へモグロビン A1c 1 か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。 鉄 血清鉄 低値は鉄欠乏状態を表します。 尿素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。		血糖	糖尿病をしらべます。
Figure 1 尿素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	糖尿病	ヘモグロビン Alc	1か月の血糖の変動を表します。糖尿病の発見と経過をみるための検査です。
Figure 1 尿素窒素 腎臓の濾過機能をみます。 クレアチニン 腎臓の濾過機能をみます。 高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	鉄	血清鉄	低値は鉄欠乏状態を表します。
育機能クレアチニン腎臓の濾過機能をみます。高尿酸血症尿酸蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。			
高尿酸血症 尿酸 蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発症することがあります。	腎機能		
	高尿酸血症		蛋白過多、アルコール過多で増加します。高値、変動が大きいと痛風を発
	炎症反応	CRP	感染や炎症の存在を表します。

【参考】SPS 受診者用配布物②

●体力測定(フィットネステスト)項目の説明

〈形態・体組成測定〉

身長、体重、体脂肪率、推定筋肉量を測定します。体脂肪率と推定筋肉量はマルチ周波数によるインピーダンス方式で測定します。そして、体脂肪率と推定筋肉量のバランスから体型判定を行います。尚、測定に使用している電流は非常に微弱で、刺激を受けることも、影響を与えることもありません。ただし、「心臓ペースメーカー」など体内に機器を装着されている方のご使用はできませんので、対象の方は事前に必ずその旨をお伝えください。



〈柔軟性〉

長座位から膝を伸ばした状態で前屈を行い、両手の指先の到達点を測定します。足底面を基準としています。尚、無理して行うと、腹筋が攣れたり、腰部を痛めたりすることが希に有りますのでご注意ください。



〈バランス(開眼片脚立ち)〉

片脚で20秒間立った時に、身体がどれだけ揺れるかを調べます。左右・前後方向の揺れの大きさを算出します。それらの値は小さいほど安定していることを示し、片脚立ちのバランスが良いことを意味します。



〈全身反応時間〉

光刺激に対してどれくらい早く反応できるかを調べます。ランプが 光ってから足が地面から離れるまでの時間を測定します。光の刺激 が目から脳へと伝わり、脳からの命令が筋肉に伝わる神経系の能力 と動作自体が素早くできているかの両方を反映します。数値が小さ いほど反応が良いことになります



〈握力〉

握力計を用いて、物をつかむ・握る力の最大値を計測します。<u>上</u>半身の筋力評価として実施します。左右2回ずつ測定します。



<両脚伸展パワー>

足に固定したプレートを両脚でできる限り強く蹴り出し、そのときに発揮されたパワーを測定します。反動動作を使わない条件での、脚(主に股・膝関節)のパワー発揮能力を表します。プレートに加わった力が大きいほど、パワーも高くなります。パワーは体重で割った値で評価します。下半身のパワーが体重あたりどのくらいあるか評価し<u>健脚度をチェック</u>します。ただし、膝を痛めているなど測定に支障がある方は当日ご相談ください。



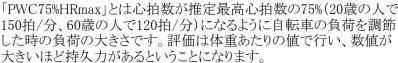
〈動的筋力(右膝伸展・屈曲トノレク)>

CYBEXというマシンを使って膝関節周りにどれくらいトルクを発揮できるのかを調べます。トルクというのはあるものを軸周りに回す能力です。伸展トルクは大腿の表側の筋肉が発揮した力を、屈曲トルクは大腿の裏側の筋肉が発揮した力を表します。トルクを体重で割った値でそれぞれの筋力を評価します。大腿の表側、裏側の筋力は多くの運動において必要な要素です。しっかり体重を支えられる筋力がバランスよく備わっているかチェックします。この測定機器はリハビリテーション用としても使用されているもので危険性は少ないと思われますが、測定は全力で行います。不安のある方はご相談ください。



<運動負荷テスト PWC75%HRmax>

運動負荷テストは運動時の心電図や血圧のチェックが第一の目的ですが、その際のペダル負荷と心拍数のデータから持久力の評価もあわせて行います。テストが始まるとペダル負荷が徐々に増え、それとともに心拍数も増加します。全身持久力に優れている人ほど負荷の増加に対する心拍数の増加は小さくてすみます。

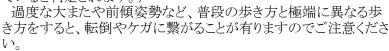


ただし、不整脈がある場合や、一部の降圧剤・緑内障の点眼薬など、心拍数の増加に影響のある薬を使用している場合には、持久力が正しく評価されないことがあります。しかし、治療を継続していることの方が優先されますから、それらのお薬を使用している方は、当日も服薬して来所してください。



<最大歩行速度> ※2015年7月より追加しました。

11mの歩行路をできる限り速く歩行し、その中間部分の平均速度 (m/分)を算出します。歩行の測定ですので、走らないようお気をつけください。(両足が同時に地面から離れる瞬間があると、走っていると判定されます。)



ジュニアは実施しません。



(2) スポーツ外来

当センターのスポーツ外来は、循環器内科・内科・スポーツ整形外科・整形外科・リハビリテーション科があり、診療等の内容は次のとおりである。

①循環器内科·内科

スポーツに関連した症状について専門的診療を実施する。また、心臓病や生活習慣病(高血圧・高脂血症・糖尿病等)の診断と治療を行う。治療には、運動療法を積極的に取り入れ、疾病の予防にも取り組む。

②スポーツ整形外科・整形外科

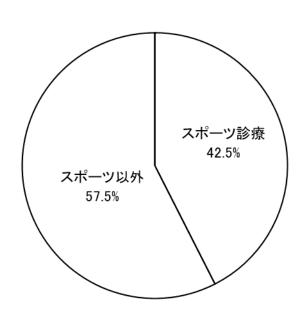
スポーツによるケガや故障について診察・検査を行い、アスレティック・リハビリテーションを処方する。また、肩こり・腰痛・膝痛など一般の整形外科的疾患にも運動療法を積極的に取り入れ、症状の緩和・消失を目指す。

③リハビリテーション科

スポーツ選手の外傷(急性・慢性)や成長期の障害、整形外科疾患に対する運動療法・物理療法のほか、トレーニングやフォーム・スキルチェックなども実施し、円滑なスポーツ復帰と再発予防を目的としたアスレティック・リハビリテーションを行う。

表1 スポーツ診療の割合(内科・整形外科)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
スポーツ診療	865	874	983	792	977	881	785	838	930	877	854	956	10,612
スポーツ以外	1, 277	1, 227	1, 174	1, 247	1, 207	993	1, 412	1, 278	1, 136	1, 131	1, 115	1, 153	14, 350
合計	2, 142	2, 101	2, 157	2, 039	2, 184	1, 874	2, 197	2, 116	2,066	2,008	1, 969	2, 109	24, 962



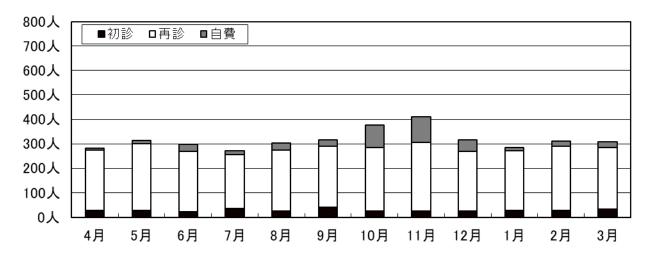
①循環器内科·内科

(ア)循環器内科・内科

表 1 内科月別受診者数

(単位:人)

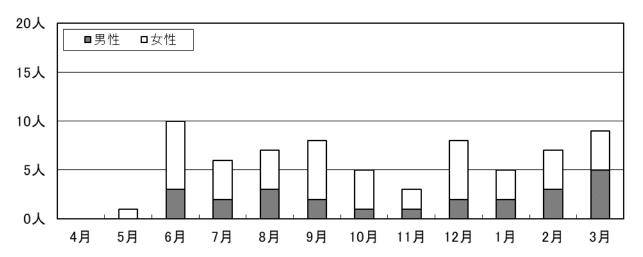
												\ 	<u> </u>
	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3 月	合計
初診	27	29	23	35	25	40	26	26	24	29	28	32	344
再診	248	272	245	220	250	249	260	279	246	242	262	252	3, 025
自費	7	12	31	18	28	27	91	107	46	15	21	25	428
合計	282	313	299	273	303	316	377	412	316	286	311	309	3, 797



※初診は前回の受診から3か月以上経過した受診者を含む。ただし、特定疾患患者は除く。 ※国体選手メディカルチェック、特定保健指導は含まない。

表 2 特定健康診査月別・男女別受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	_	_	3	2	3	2	1	1	2	2	3	5	24
女性	_	1	7	4	4	6	4	2	6	3	4	4	45
合計	_	1	10	6	7	8	5	3	8	5	7	9	69



(イ) 検査

表 1 月別検査総数

(単位:件)

10	•	3 /3 3 24.	且心双												(十三)	- · IT/
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
			外来・健診	29	28	62	33	41	42	32	28	37	27	44	35	438
	_	尿一般	SPS	125	210	131	81	100	127	71	76	73	85	93	64	1,236
	般検	水一板	国体	_	3	63	153	32	_	_	14	5	_	_	_	270
	查		減量教室	22	21	22	22	33	25	21	29	28	19	28	24	294
		厉	永沈渣	25	18	33	26	22	14	21	17	17	17	13	15	238
		小	計	201	280	311	315	228	208	145	164	160	148	178	138	2, 476
			外来・健診	143	153	155	127	150	169	144	150	152	132	146	145	1,766
検	血液	返一般検	SPS	125	210	131	81	96	127	71	76	73	85	93	73	1,241
体検		查	国体	_	3	63	153	32		_	14	5		_	_	270
查			減量教室	22	21	22	22	33	25	21	29	28	19	28	24	294
		小	計	290	387	371	383	311	321	236	269	258	236	267	242	3, 571
			外来・健診	143	156	163	136	160	181	150	155	164	136	156	152	1,852
	<i>H</i> - (1	化学検査	SPS	125	210	131	81	96	127	71	76	73	85	93	73	1,241
	王11	L于快直	国体	_	3	63	153	32	_	_	14	5	_	_	_	270
			減量教室	22	21	22	22	33	25	21	29	28	19	28	24	294
		小	計	290	390	379	392	321	333	242	274	270	240	277	249	3, 657
		外部	委託	31	80	67	22	20	51	26	16	13	69	27	13	435
		検体検査	小計	812	1, 137	1, 128	1, 112	880	913	649	723	701	693	749	642	10, 139
			外来・健診	40	45	37	33	27	35	37	44	23	40	33	40	434
		で静時	SPS	126	182	131	81	100	98	72	76	73	85	93	73	1,190
	心電	這図検査	国体	_	3	63	153	32	_	_	14	5	_	_	_	270
			減量教室	15	15	10	10	16	10	6	10	9	9	9	6	125
		小	計	181	245	241	277	175	143	115	144	110	134	135	119	2,019
			外来・健診	13	9	9	14	5	14	13	12	8	8	9	14	128
	エ /i タ	レゴメー 負	SPS	110	145	82	79	92	94	72	75	71	34	93	63	1,010
	-	 方試験	国体	_	_	45	103	24	_	_	6	5	_	_	_	183
生			減量教室	22	17	14	10	20	13	13	16	14	13	16	15	183
理機		小	計	145	171	150	206	141	121	98	109	98	55	118	92	1,504
能検		> 0#k	外来・健診	7	15	4	9	4	9	1	10	6	3	7	10	85
査		心臓 f波検査	SPS	_	14	1	2	7	1	1	1	4	16	2	_	49
			国体		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
		小	計	7	29	5	11	11	10	2	11	10	19	9	10	134
		頚動脈超	音波検査	7	11	2	4	3	4	6	3	4	3	3	7	57
	腹部	『・その化	也超音波検査	8	6	4	6	5	5	3	5	3	8	12	2	67
			心電図検査	_	4	1	4	1	5	1	3	4	3	5	2	33
		レッドミ (心肺負荷	ル負荷試験 苛試験含)	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	~	 マスター負	負荷心電図		_	_	_	_	_		_	_	_	_	1	1
		Late Alace	外来・健診	3	1	1	_	_	1	2	_	_	2	_	_	10
	呼吸	機能検査	SPS	15	1	11	1	1	5	_	_	_	_	_	_	34
	生	理機能検	查小計	366	468	415	509	337	294	227	275	229	224	282	233	3, 859
		合計		1, 178	1,605	1,543	1,621	1,217	1,207	876	998	930	917	1,031	875	13, 998
		<u> </u>	・ルゴメー	<u> </u>	+ → N #A		→ ×// LA	<u> </u>	h 2 A	2.						

*7月の国体エルゴメータ負荷試験は、二次検査1名を含む

表 2 国体健診月別人数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動負荷試験あり			45	102	24	_	_	6	5	_			182
運動負荷試験なし	_	3	18	51	8	_	_	8	_	_	_	_	88
合計	_	3	63	153	32	_	_	14	5	_	_	_	270

^{*}国民体育大会神奈川県代表選手の健康管理事業である。

表 3 特定健康診査月別人数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
横浜市国民健康保険組合	_	1	10	6	5	7	5	3	8	3	7	8	63
各種社会保険組合	_	_	_	_	2	1	_	_	_	1	_	_	4
その他国民健康保険組合	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	1	2
合計	_	1	10	6	7	8	5	3	8	5	7	9	69

表 4 減量・脂肪燃焼教室月別人数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事前測定	10	15	10	10	14	9	3	10	8	8	8	5	110
簡易測定		4	8	12	12	12	8	13	14	6	12	9	110
効果測定	12	2	4		7	4	10	6	6	5	8	10	74
合計	22	21	22	22	33	25	21	29	28	19	28	24	294

*3、6 ヶ月コースの 2 種 : 3 ヶ月コースは事前、3 ヵ月後に簡易測定を、6 ヶ月コースは事前、3 ヵ月後に簡易、6 ヵ月後に効果測定を実施するため、年度またぎの教室である、また人数は延べ人数である

^{*}運動負荷試験は自転車エルゴメータにて実施した。

^{*}その他として、7月に1名二次検査(負荷試験のみ)を実施した。

(ウ) 栄養

■SPS における栄養相談数

事前に郵送した食生活問診票を SPS 当日に回収し分析。その結果を印刷して当日に配布し、参加者全員へ 30 分程度の栄養講話で情報提供を行う。その後、希望者に対して個別栄養相談を 15 分程度行う。

表1 食生活問診票ありの SPS 人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	男性	20	7	16	23	16	18	7	14	7	11	16	8	163
州又	女性	36	27	23	26	24	22	14	28	16	15	18	14	263
高齢	男性	21	21	18	11	4	11	17	18	17	9	10	19	176
同 断	女性	14	21	28	27	7	7	19	31	12	10	15	10	201
ジュニア	男性	29	53	1	_	5	33	17		16	_	30	11	195
0 4 - 7	女性	13	23		1	4	13			14		11	7	86
合計	男性	70	81	35	34	25	62	41	32	40	20	56	38	534
口印	女性	63	71	51	54	35	42	33	59	42	25	44	31	550

表 2 SPS 個別栄養相談数及び SPS 実施数に対する割合 (%)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	13	10	22	19	10	11	8	19	8	11	13	11	155
女性	16	17	22	17	13	8	14	19	10	7	17	10	170
合計	29	27	44	36	23	19	22	38	18	18	30	21	325
割合 (%)	21.8%	17.8%	51.2%	40.9%	38. 3%	18.3%	29. 7%	41.8%	22.0%	40.0%	30.0%	30.4%	30.0%

■内科外来依頼の栄養相談数

1日分の食事記録をもとに相談を行う。期間は3か月で月1回30分行った。

表 3 月別受診者数及び初診・再診者数

(単位:人)

														\ 1 I	<u> </u>
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
男性	初診	_	_	_	_		1	_	1	_	_		1	3	0.3
为住	再診	2	_	1		2	_	2		1		1		9	0.8
女性	初診	1	_	_	_	1	_	2	1	_	1	2	3	11	0.9
女性	再診	3	4	5	4	2	7	2	6	6	4	4	9	56	4. 7
合	計	6	4	6	4	5	8	6	8	7	5	7	13	79	6.6

表 4 年齢別受診者数

	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	合計
男性		_	_	_	8	4	_		12
女性	_			1	26	18	17	5	67
合計	_	_	_	1	34	22	17	5	79

表 5 疾患別食事療法集計

(単位:人)

	高脂血症	糖尿病	高血圧	高脂血症 糖尿病	高脂血 症 高血圧	高脂血症 糖尿病高血圧	高血圧 糖尿病	その他	合計	男女比
要減量 (男性)	5			1	5				11	10.2%
要減量 (女性)	10	6		8	12	_	1	1	38	35.2%
比率	30.6%	12.2%	0.0%	18.4%	34.7%	0.0%	2.0%	2.0%	100.0%	45.4%
減量不要 (男性)	2	2	1					3	8	7.4%
減量不要 (女性)	21	7	6		4		5	8	51	47.2%
比率	39.0%	15.3%	11.9%	0.0%	6.8%	0.0%	8.5%	18.6%	100%	54.6%
合計	38	15	7	9	21		6	12	108	100%

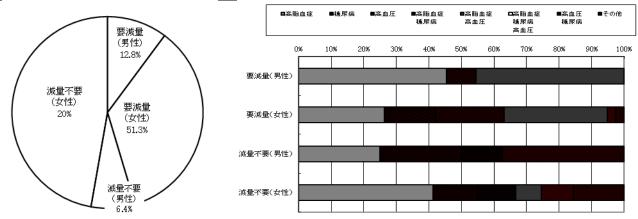


表 6 特定保健指導月別受診者数

(単位:人)

													\ 1 I—	/ 🗸
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
積極的 支 援	男性	_	1	_	1	_	_		1	_	_	1	1	5
支 援	女性			1		_			1		2		2	6
動機付け	男性	1	2	2	_	2	_	1	1	2	3	2	2	18
支 援	女性	4	2	3	3	3		1	2	<u>—</u>	1	1	5	25
合計		5	5	6	4	5	_	2	5	2	6	4	10	54

■その他

表7 スポーツ選手個別栄養相談数

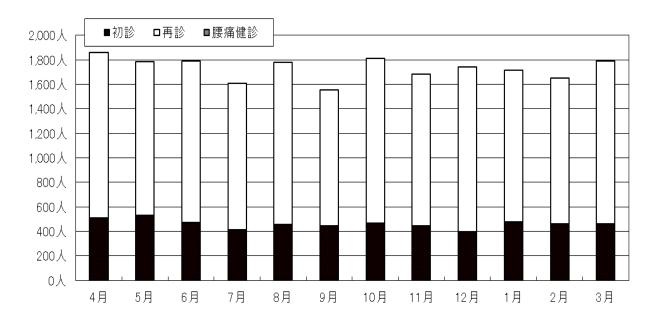
	男性	女性	合計
神奈川県スケート連盟(フィギュアスケート Jr)	9	15	24
横浜市空手連盟(空手 Jr)	4	4	8

②スポーツ整形外科・整形外科

(ア)スポーツ整形外科・整形外科

表 1 整形外科月別受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診	512	530	473	413	456	448	468	444	398	477	464	461	5, 544
再診	1, 348	1, 252	1, 318	1, 197	1, 324	1, 108	1, 343	1, 239	1, 341	1, 240	1, 187	1,330	15, 227
腰痛健診													_
合計	1,860	1,782	1, 791	1,610	1,780	1,556	1,811	1,683	1,739	1,717	1,651	1,791	20, 771



※初診は前回の受診からおおよそ3か月以上経過した受診者を含む。

(イ)放射線

表 1 磁気共鳴画像 (MRI) 検査数

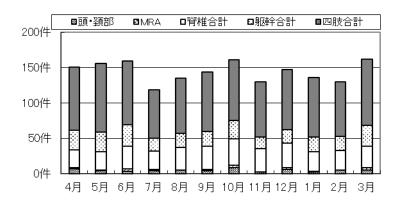
(単位:人)

												(中区	. / /
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭•頚部	7	4	3	4	5	4	8	2	6	2	5	5	55
MRA	1	1	4	2		2	4	_	2	1	_	3	20
頚椎	2	6	4	6	3	6	3	2	5	3	3	2	45
胸椎	1	_	_		_	1	_	—	_	_	—	1	3
腰仙椎	23	20	28	20	29	26	34	31	30	25	25	28	319
脊椎合計	26	26	32	26	32	33	37	33	35	28	28	31	367
胸部	_	_	1	_	1	_	_	1	_	1	_	2	6
腹部	1	_	_	_	_	_	2	_	_	_	_	_	3
骨盤	3	3	5	1	3	3	3	_	1	1	1	7	31
股関節	6	6	6	4	6	8	7	1	6	5	4	6	65
肩関節	17	19	18	13	10	10	14	15	12	14	15	14	171
躯幹合計	27	28	30	18	20	21	26	17	19	21	20	29	276
肘関節	4	2	3	2	7	5	3	9	7	3	5	7	57
手関節	1	_	1	2	2	3	_	_	4	_	1	_	14
膝関節	55	64	53	46	50	51	67	43	61	57	54	62	663
足関節	9	12	10	8	6	4	3	8	4	6	2	10	82
上・下肢	21	19	23	11	13	21	13	18	9	18	15	15	196
四肢合計	90	97	90	69	78	84	86	78	85	84	77	94	1,012
総件数	151	156	159	119	135	144	161	130	147	136	130	162	1, 730
撮像件数	945	985	995	801	890	926	1,070	892	1,005	936	884	1,087	11, 416
総人数	150	156	156	120	134	143	160	129	146	136	129	161	1,720

※総件数は同日2部位検査を含むため延べ数である。

※MRA は主に頭部(脳)である。頚部、全下肢含む。

図1 磁気共鳴画像 (MRI) 検査 部位別件数・割合



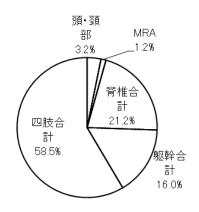


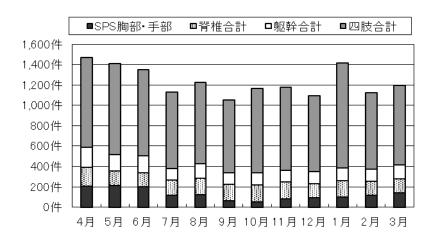
表 2 X 線一般撮影 (CR) 検査数

(単位:件数)

SPS胸部・手部 25月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計 SPS胸部・手部 205 212 199 116 120 61 53 83 94 98 117 141 1,499 類様 34 33 27 30 32 30 29 35 24 25 24 27 352 胸・腰仙椎 149 108 114 120 131 135 136 128 114 139 114 110 1,498 育権合計 183 143 141 150 163 165 163 138 164 138 137 1,898 預節														
類椎 34 35 27 30 32 30 29 35 24 25 24 27 352 胸・腰仙椎 149 108 114 120 131 135 136 128 114 139 114 110 1,498 脊椎合計 183 143 141 150 163 165 165 163 138 164 138 137 1,850 頭部 — <th< td=""><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td></th<>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸・腰仙椎 149 108 114 120 131 135 136 128 114 139 114 110 1,498 脊椎合計 183 143 141 150 163 165 165 163 138 164 138 137 1,850 頭部 -	SPS胸部・手部	205	212	199	116	120	61	53	83	94	98	117	141	1, 499
脊椎合計 183 143 141 150 163 165 163 138 164 138 137 1,850 頭部 一	頚椎	34	35	27	30	32	30	29	35	24	25	24	27	352
頭部 一<	胸·腰仙椎	149	108	114	120	131	135	136	128	114	139	114	110	1, 498
胸部 28 28 17 21 21 20 21 20 12 13 17 24 242 腹部 — — — 2 — — — — 1 — — — — 3 骨盤・股関節 174 135 150 90 122 91 97 93 107 109 99 113 1,380 躯幹合計 202 163 167 113 143 111 118 113 120 122 116 137 1,625 肩関節 94 104 91 88 75 94 81 84 70 99 71 72 1,023 財関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 <th< td=""><td>脊椎合計</td><td>183</td><td>143</td><td>141</td><td>150</td><td>163</td><td>165</td><td>165</td><td>163</td><td>138</td><td>164</td><td>138</td><td>137</td><td>1,850</td></th<>	脊椎合計	183	143	141	150	163	165	165	163	138	164	138	137	1,850
腹部 一 一 2 一 一 一 一 1 一 一 一 3 骨盤・股関節 174 135 150 90 122 91 97 93 107 109 99 113 1,380 躯幹合計 202 163 167 113 143 111 118 113 120 122 116 137 1,625 肩関節 94 104 91 88 75 94 81 84 70 99 71 72 1,023 財関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357	頭部	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
骨盤・股関節 174 135 150 90 122 91 97 93 107 109 99 113 1,380 躯幹合計 202 163 167 113 143 111 118 113 120 122 116 137 1,625 肩関節 94 104 91 88 75 94 81 84 70 99 71 72 1,023 財関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882	胸部	28	28	17	21	21	20	21	20	12	13	17	24	242
 躯幹合計 202 163 167 113 143 111 118 113 120 122 116 137 1,625 7月関節 94 104 91 88 75 94 81 84 70 99 71 72 1,023 計関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 新位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163	腹部	_	_	_	2	_	_	_	_	1	_	_	_	3
肩関節 94 104 91 88 75 94 81 84 70 99 71 72 1,023 財関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	骨盤・股関節	174	135	150	90	122	91	97	93	107	109	99	113	1, 380
肘関節 93 104 85 74 100 65 95 92 95 107 121 101 1,132 手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	躯幹合計	202	163	167	113	143	111	118	113	120	122	116	137	1,625
手関節 33 37 12 20 30 32 21 28 36 23 16 11 299 膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	肩関節	94	104	91	88	75	94	81	84	70	99	71	72	1,023
膝関節 318 310 299 276 291 253 312 293 264 357 287 330 3,590 足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	肘関節	93	104	85	74	100	65	95	92	95	107	121	101	1, 132
足関節 135 108 110 84 63 58 77 78 66 145 73 68 1,065 上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	手関節	33	37	12	20	30	32	21	28	36	23	16	11	299
上・下肢 209 227 244 210 238 213 241 245 209 299 183 198 2,716 四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	膝関節	318	310	299	276	291	253	312	293	264	357	287	330	3, 590
四肢合計 882 890 841 752 797 715 827 820 740 1,030 751 780 9,825 部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	足関節	135	108	110	84	63	58	77	78	66	145	73	68	1,065
部位件数 1,472 1,408 1,348 1,131 1,223 1,052 1,163 1,179 1,092 1,414 1,122 1,195 14,799	上・下肢	209	227	244	210	238	213	241	245	209	299	183	198	2,716
	四肢合計	882	890	841	752	797	715	827	820	740	1, 030	751	780	9, 825
総人数 998 994 917 787 843 712 756 761 743 798 775 814 9,898	部位件数	1, 472	1, 408	1, 348	1, 131	1, 223	1,052	1, 163	1, 179	1,092	1, 414	1, 122	1, 195	14, 799
						843	712	756	761	743	798	775	814	9, 898

※上・下肢は胸骨・肋骨・鎖骨等含む。

図2 X線一般撮影(CR)検査 部位別件数・割合



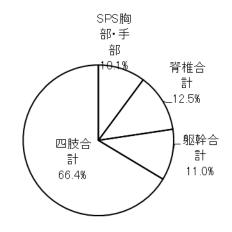


表3 パワーアップ MRI・減量教室 部位別件数

(単位:件数)

腹部	大腿	下腿	上腕	合計
188	9	6	_	203

表 4 骨量測定 (DEXA) 検査 月別·部位別件数

(単位:件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
腰椎	11	10	10	8	10	16	19	11	13	6	12	7	133
大腿骨・前腕	14	12	14	13	9	18	24	12	23	10	15	9	173
全身骨• 体組成	1	_	_	_	_	7	12	12	14	11	15	12	84

③リハビリテーション科

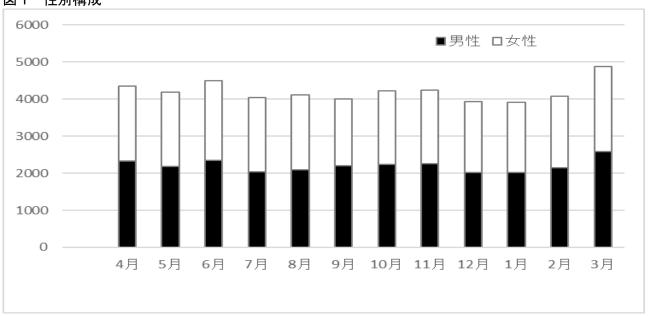
表 1 月別利用状況

(単位:人)

(単位:点数)

					\ I I	<u>///</u>				(TE: - M) 3/2,
月	診療	男性	女性	合計	対応	新患数		保険点数(点)	
/1	日数	ルエ	タほ		疾患数	机心效	運動器リハI	消炎鎮痛処置	固定	総合実施計画書
4月	20	2, 332	2, 025	4, 357	7, 755	526	2, 729	1, 623	_	1, 036
5月	19	2, 176	2,005	4, 181	7,560	508	2,654	1, 523	_	1,074
6月	22	2, 344	2, 158	4, 502	8,051	456	2,884	1,615	_	1,093
7月	20	2, 032	2,005	4,037	7, 339	437	2,704	1, 330	_	1,086
8月	22	2, 092	2, 021	4, 113	7, 583	484	2, 858	1, 247	_	1, 115
9月	19	2, 197	1, 797	3, 994	7, 394	458	2,772	1, 217	_	1, 128
10月	21	2, 246	1, 975	4, 221	7,910	485	2, 947	1, 270	_	1, 083
11月	20	2, 250	1, 987	4, 237	8, 159	449	2, 951	1, 283	_	1,060
12月	18	2, 023	1, 899	3, 922	7,646	433	2, 774	1, 140	_	1, 052
1月	19	2, 024	1,883	3, 907	7,542	489	2,777	1, 127	_	988
2月	19	2, 148	1, 925	4,073	7, 599	435	2,879	1, 191	_	1,062
3月	21	2, 583	2, 289	4,872	8,863	446	3, 371	1, 498	_	1,077
合計	240	26, 447	23, 969	50, 416	93, 401	5, 606	34, 300	16, 064	_	12, 854
月平	z均	2, 203. 92	1, 997. 42	4, 201. 33	7, 783. 42	467. 17	2, 858	1, 339	_	1,071
日平	Z均	110	100	210	389	23	143	67	_	54

図1 性別構成



(3) メディカルエクササイズコース(MEC)

MEC は、SPS や内科・整形外科外来の疾患患者で、理学療法治療(特に物理療法等)を必要とせず、有酸素運動やほぐし、ストレッチング、筋力トレーニングなどを行う運動療法教室である。この教室では、疾病の改善と運動機能の向上を図ることを目的に実施している。

■対象者

SPS 参加者や外来受診者で、軽度の内科的疾患または予備軍であり、医師が運動の実践で改善が見込まれると判断した方。もしくは主に腰背部・膝関節周囲部に疾患があり、医師が軽度な運動で改善が見込まれると判断した方。

■実施内容

- ・アリーナコース (大アリーナ・トレーニングルーム・MEC ルーム・ライブラリー) 医師の指示に基づき、主に有酸素運動や筋力トレーニングを行う。
- ・プールコース(25mプール) 医師の指示に基づき、水中で運動を行う。

■実施時間

1回90分

■実施日(○印:実施日)

コース	時間	月	火	水	木	金	土	日
アリーナコース	10:15~11:45	\bigcirc			\circ		\bigcirc	
(有酸素運動)	13:00~14:30	0		0	0	0	_	_
プールコース	11:00~12:30	0		0	0	0	0	_
ノールコース	13:30~15:00	0	_	0	0	0	_	_

コース	時間	月	火	水	木	金	土	日
マル・ナコ・フ	9:00~10:30	0		\circ	\circ	0	0	_
(膝・腰)	11:00~12:30	0		0	0	0	0	
(旅) 版)	13:00~14:30	0		0	0	0	0	_

■定員

アリーナコースの有酸素運動は 1 回 20 人、膝・腰は水・金午前中、土午後は 1 回 18 人、それ以外は 18 人

プールコースは1回30人

■参加方法

参加基準並びに参加種類 (アリーナコース・プールコース) は医師が決定し、参加者は定期的な外来診察を受ける。

■参加料金

1回1,500円(医療費控除対象)

表 1 MEC アリーナコース月別・男女別参加者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	258	252	236	240	251	209	241	220	201	188	214	242	2, 752
女性	666	689	759	644	706	615	671	710	618	614	660	700	8,052
合計	924	941	995	884	957	824	912	930	819	802	874	942	10,804

図1 MECアリーナコース性別構成

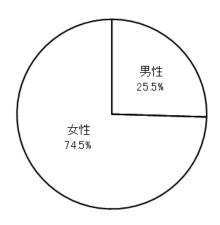
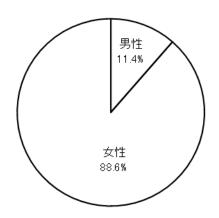


表 2 MEC プールコース月別・男女別参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	34	41	42	36	37	33	38	36	23	36	33	33	422
女性	280	278	304	277	327	263	280	271	202	256	246	285	3, 269
合計	314	319	346	313	364	296	318	307	225	292	279	318	3, 691

図2 MEC プールコース性別構成(企画)



(4) スポーツ教室・健康教室・目的別教室

①スポーツ教室

スポーツ医科学センターでは、幼児・児童は運動能力の発達と競技力の向上を、成人は健康・体力の維持増進を目的として体操・水泳・トレーニングのスポーツ教室を開催している。

(ア)体操教室

コース	実施曜日	内容
幼児	月・水・木・金・土・日	リズム運動・マット運動・跳び箱・鉄棒などで、 敏捷性、平衡感覚、柔軟性を身につけるコース。
児童	月・水・木・金・土・日	個人の基礎体力に合わせて、無理なく運動能力 を向上させるとともに、体操の基礎からバク転 や宙返りなどの高度な技も練習するコース。
選手	月・水・木・金・土・日	体操選手として必要な体力、技術、精神面など を基本から学び、選手として活躍できるよう育 成するコース。

表1 体操教室月別・男女別参加者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	男性	177	228	262	212	232	263	238	224	181	233	251	239	2, 740
幼児	女性	201	218	238	186	190	229	226	236	182	233	262	245	2, 646
	小計	378	446	500	398	422	492	464	460	363	466	513	484	5, 386
	男性	548	518	590	500	444	540	482	488	395	449	468	452	5, 874
児童	女性	651	637	706	583	541	655	552	538	444	514	543	551	6, 915
	小計	1, 199	1, 155	1, 296	1,083	985	1, 195	1,034	1,026	839	963	1,011	1,003	12, 789
	男性	410	382	414	386	409	389	382	440	393	395	404	472	4, 876
選手	女性	599	541	595	533	535	513	507	563	467	461	556	618	6, 488
	小計	1,009	923	1,009	919	944	902	889	1,003	860	856	960	1,090	11, 364
合計	<u> </u>	2, 586	2, 524	2, 805	2, 400	2, 351	2, 589	2, 387	2, 489	2,062	2, 285	2, 484	2, 577	29, 539

(イ) 水泳教室

コース	実施曜日	内容
幼児	月・水・木・金・土・日	水への恐怖心をなくし、水慣れ(潜る・浮く)からバタ足など水泳の基礎を練習し、楽しく基本練習を行うコース。
児童・基礎	月・木・土・日	水泳の基本となる水慣れ(潜る・浮く)からバタ足を練習し、 クロールと背泳ぎの2泳法を無理なくマスターするコース。
児童・応用	水・金・土・日	クロール・背泳ぎを反復練習して泳力と泳法を向上するとと もに平泳ぎとバタフライの 4 泳法をマスターするコース。
児童・育成	月・木	クロール・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの 4 泳法を練習しな がら、さらなる水泳技術と泳力の向上を目指すコース。
成人・基礎	月・木・土	水泳をはじめて練習される方からクロール・背泳ぎをマス ターしたい方、泳力を向上させたい方のコース。
成人・応用	月・水・木・金・土	クロール・背泳ぎができる方を対象とし、4泳法をマスター して、さらに泳法・泳力の向上を目指すコース。
マスターズ	木・日	自由形で 50m 以上の泳力がある方を対象とし、泳法・泳力の 向上と距離やタイムにもチャレンジするコース。
選手	月・水・木・金・土	水泳選手として必要な体力・技術・精神面などを基本から学 び、選手として活躍できるよう育成するコース。
アクアビクス	水・金	水中で音楽に合わせて有酸素運動を行うコース。
ワンポイント アドバイス	予約制	スイムミルを利用して、スイミングフォームを撮影し、水泳 指導員がアドバイスを行う。

表 2 水泳教室月別・男女別参加者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	男性	170	174	180	154	183	219	200	206	167	206	221	218	2, 298
幼児	女性	96	90	110	110	113	144	123	139	91	133	142	151	1, 442
	小計	266	264	290	264	296	363	323	345	258	339	363	369	3, 740
	男性	472	472	524	446	455	559	590	593	438	521	567	551	6, 188
児童	女性	360	322	398	350	290	425	438	425	354	398	404	432	4, 596
	小計	832	794	922	796	745	984	1,028	1,018	792	919	971	983	10, 784
	男性	58	62	63	55	57	49	68	53	39	56	58	51	669
人マスター	女性	330	339	353	313	309	319	299	298	221	275	299	284	3, 639
	小計	388	401	416	368	366	368	367	351	260	331	357	335	4, 308
	男性	225	227	210	193	196	194	200	212	156	190	238	236	2, 477
選手	女性	213	214	213	190	165	208	234	236	164	192	240	257	2, 526
	小計	438	441	423	383	361	402	434	448	320	382	478	493	5, 003
	男性	4	4	6	4	4	4	4	4	3	4	4	3	48
'クアビク	女性	36	35	40	42	34	37	42	39	31	33	28	29	426
	小計	40	39	46	46	38	41	46	43	34	37	32	32	474
	男性	4	2	1	4	6	6	7	5	4	3	6	8	56
イントアド	女性	_		4	9	4	2	5	5	_	1	1	3	34
	小計	4	2	5	13	10	8	12	10	4	4	7	11	90
合計		1,968	1, 941	2, 102	1,870	1,816	2, 166	2, 210	2, 215	1,668	2,012	2, 208	2, 223	24, 399

(ウ)トレーニング教室

コース	実施曜日	内容
筋力向上・姿勢改善教室 旧名称: ウェルラウンド (16 歳以上)	月・水・木・金・土	SPS の結果に基づいて、個々人に合わせた 運動メニュー(有酸素運動・筋力トレーニ ング・ストレッチング等)を行い、健康・ 体力の維持・向上を図るコース。

表 1 トレーニング教室月別・男女別参加者数

												V 1	1
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	205	208	219	205	227	201	200	185	183	175	183	221	2, 412
女性	215	219	218	207	185	210	188	219	202	175	205	220	2, 463
小計	420	427	437	412	412	411	388	404	385	350	388	441	4, 875

(エ) スポーツ教室イベント

		T		7. (人)
	業名 保護者が逆上がりの安全で効果的	開催日	対象者 幼児〜児童と保護者	人数 7
~逆上がり~	な逆上がりの補助方法を学び、親子で逆上がりの上達を目指す。	平成30年7月29日	列九 儿童と体設有	•
鉄棒逆上がり教室	指導員が補助を行い、逆上がりの 上達を目指す。	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	児童	20
マット側転教室	指導員が補助を行い、側転の習得 を目指す。		児童	13
跳び箱開脚跳び教室	指導員が補助を行い、開脚跳びの 習得を目指す。	平成30年7月30日	児童	9
3・4歳児はじめての体操教室	体操の基本運動(跳ぶ・跳ねる、 動かす、バランスをとる) 基礎か ら器械体操を学ぶ。	平成30年7月29日	3·4歳児	8
		平成30年7月30日		7
親子で上達フォローアップ教室 〜マット (側転・ロンダート) 〜	保護者がマット運動の補助方法を 学び、子どもと共にマット運動を 楽しみながら技術の習得を目指 す。	平成30年8月15日	幼児〜児童と保護者	2
親子で上達フォローアップ教室 〜跳び箱(開脚跳び)〜	保護者が跳び箱運動の補助方法を 学び、子どもと共に跳び箱運動を 楽しみながら技術の習得を目指 す。	平成30年8月16日	幼児〜児童と保護者	0
親子で上達フォローアップ教室 〜鉄棒(逆上がり)〜	保護者が鉄棒運動の補助方法を学び、子どもと共に鉄棒運動を楽し みながら技術の習得を目指す。	平成30年8月17日	幼児〜児童と保護者	7
体操3日間短期教室	体操の基本運動(跳ぶ・跳ねる、動かす、バランスをとる) 基礎から器械体操を学ぶ。		児童	9
3・4歳児はじめての体操教室	体操の基本運動(跳ぶ・跳ねる、動かす、バランスをとる) 基礎から器械体操を学ぶ。	平成30年8月15日~ 平成30年8月17日	3·4歲児	10
キッズスイミング体験会	レクリエーションを通して水に親 しみ、水泳の基礎技術を身につけ る。		幼児~児童	46
大人の水泳学ぼう会	初心者向け水泳教室		16歳以上の水泳初心者	3
横浜地域ABC級水泳記録会	横浜地域29クラブに所属する水泳 選手の記録会	平成30年9月30日	選手	798
スポレク 幼児水遊び体験会	レクリエーションを通して水に親 しみ、水泳の基礎技術を身につけ る。		3歳以下未就学児	12
スポレク クロールクイックターン練習会	クロールのクイックターンを習得 する。		小学生以上 (クロールで 25m以上泳げること)	19
水泳スポ医科杯	大会形式によるタイム計測、選手 コース参加者によるデモンスト レーション	平成30年10月8日	水泳教室会員	30
スポレク 体操器具体験	様々な体操器具を使用し、サー キットを行いながら体操の基礎運 動を体験する。	,,,,	児童	9
スポレク トランポリンチャレンジ教室	トランポリンに親しみながら、基 礎技術を習得する。		幼児~児童	36
スポレク 親子体操器具ジムパーク	親子で体操器具に触れ、身体を動かし体操に親しむ。		幼児〜児童と保護者	36
体操演技発表会	体操選手コース会員を対象に、新 ルールに基づく演技発表を試合形 式で実施する。	平成30年11月23日	スポーツ教室体操選手コー ス会員	44
体操3日間短期・ トランポリンチャレンジ教室	トランポリンや体操器具に親しみ ながら、基礎技術を習得する。	平成30年12月22日~ 平成30年12月24日	幼児~児童	58
アスリートフェスティバル	普段とは異なる環境や、仲間、 コーチとの交流を通じて新たな気 づきを得ることで、練習への意欲 や教室への満足度を高め、今後の 継続的な教室参加を促す。	平成30年12月23日	水泳・体操教室選手コース 会員	53
3歳はじめて体操教室	体操器具(マット・跳び箱・鉄 棒・平均台・トランポリン)を使 用して器械体操の基礎から学ぶ。	平成31年3月30日	3歳児	25
開脚跳び&逆上がり講習会	横浜市内で体操を指導する指導者 を対象に、開脚跳びと逆上がりを 安全かつ効果的に指導する指導方 法を紹介する。		横浜市内地域運動指導者	14
第3回GRADUATION CUP	体操選手コース会員を対象に、試 合形式で行う発表会		スポーツ教室体操選手コース会員	45
幼児水慣れ体験教室	レクリエーションを通して水に親 しみ、水泳の楽しさを体験する。	平成30年3月29日~31 日	幼児(4歳~5歳)	45

2健康教室

健康教室は、スポーツ(運動)実施のきっかけづくりとスポーツの振興を目的として、年間を 4期に分けて開催している。

コース	定員	内容
太極拳 (16 歳以上)	50 人	練功十八法を準備運動に取り入れ、太極拳の基礎を行 う。
社交ダンス (16 歳以上)	男女各 25 人	ワルツ・タンゴ・ブルース・チャチャチャなど、社交ダンスの基礎を行う。
フラダンス (16 歳以上)	女性 50 人	歌詞の意味を手足や表情で表し、基礎から一曲ずつマス ターする。
健康ヨーガ火曜・水曜・ 金曜 (16 歳以上)	50人 金曜のみ80人	姿勢・動作・呼吸法など、ヨーガの基礎を行う。 (すべて同じ内容で実施)
ピラティス水曜・木曜 (16 歳以上)	50 人	ゆったりとした正しい動きで体幹を意識し、腰痛や骨盤 の歪みを改善する。
シェイプアップボクシ ング(16 歳以上)	30 人	ボクシングエクササイズを行うことで、血液の循環を良くし、心肺機能を高め、有酸素運動で脂肪燃焼させる。
親子リトミック (教室開催時に 2~3 歳 児の子どもと保護者)	16 組	親子でリズムに合わせて体を動かす。楽しみながら体力 づくりや仲間づくりをする。
骨盤調整月曜・火曜 (16歳以上)	月曜 35 人 火曜 30 人	骨盤を動かし、全身の調整を行う。からだの歪みを整え、 引き締めの体操でコンディションを整える。
大人のためのコンディ ショニング水曜・金曜 (16 歳以上)	各 30 人	日常使っていない筋力を維持・増進しバランス感覚を養 う。ハガキではなく、電話での申込みになる。
シェイプアップエクサ サイズ(16 歳以上)	30 人	ソフトエアロで脂肪燃焼し、ダンベル等の用具で身体を 引き締め、ストレッチで身体と心をリラックスしてい く。
絵手紙 (16 歳以上)	15 人	季節の花や野菜・果物などをテーマにして思い思いの絵 手紙を作成する。
ハワイアンキルト (16 歳以上)	15 人	初めての方でも気軽に作れるハワイアンキルトを 1 期 に 2 作品作成する。
機能改善ヨーガ (16 歳以上)	80 人	ポーズごとに機能を活性化するための簡単なエクササイズを行い、効果を深く感じながら身体を整える。

表1 健康教室月別・男女別参加者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	男性			3	3			3	2		2			
骨盤調整		4	8			3	1			1		3	1	34
(月)	女性	32	51	26	39	35	25	45	56	11	29	35	29	413
	小計	36	59	29	42	38	26	48	58	12	31	38	30	447
親子リト	男性	4	7	2	4	7	3	11	15	5	9	13	9	89
親ナットミック	女性	46	97	38	40	43	35	79	97	25	57	119	77	753
	小計	50	104	40	44	50	38	90	112	30	66	132	86	842
	男性			_	_	_			_		_	_	_	_
骨盤調整 (火)	女性	49	51	62	69	34	36	61	48	49	35	31	19	544
(90)	小計	49	51	62	69	34	36	61	48	49	35	31	19	544
	男性		_			_			_		_	_		_
健康ヨー	女性	29	26	30	36	21	16	38	24	32	13	18	20	303
ガ(火)	小計	29	26	30	36	21	16	38	24	32	13	18	20	303
はじめて		29	20	30	30	21	10		24	34	13	10	20	303
はしめて	男性	_								_	_			
ピラティ	女性	31	34	35	54	32	28	43	25	27	21	21	19	370
ス	小計	31	34	35	54	32	28	43	25	27	21	21	19	370
健康ヨー	男性	7	8	2	3	4	2	4	3	1	4	4	2	44
ガ (水)	女性	59	60	30	64	64	26	73	63	13	49	49	22	572
	小計	66	68	32	67	68	28	77	66	14	53	53	24	616
	男性	41	35	21	39	36	15	33	33	11	33	30	16	343
太極拳	女性	29	27	15	27	30	16	27	27	14	18	22	11	263
	小計	70	62	36	66	66	31	60	60	25	51	52	27	606
	男性	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
ピラティ	女性	53	52	34				—						139
ス (水)	小計	53	52	34										139
	男性	17	17	16	16	16	19	18	17	12	18	18	18	202
コンディ ショニン	女性	51	49	48	53	49	47	57	48	35	51	50	47	585
グ(水)	小計	68		64	69	65	66	75	65	47	69	68		787
		00	66	04	69	69	00	7.5	69	47	69	00	65	101
フラダン	男性												=	
ス	女性	121	115	50	108	105	48	114	127	21	87	115	56	1,067
	小計	121	115	50	108	105	48	114	127	21	87	115	56	1,067
社交ダン	男性	24	22	10	23	22	9	17	19	3	6	8	4	167
ススク	女性	28	25	13	24	24	12	18	21	5	10	18	10	208
	小計	52	47	23	47	46	21	35	40	8	16	26	14	375
	男性	5	5	6	7	7	4	8	8	2	3	6	2	63
ピラティ ス(木)	女性	79	68	50	80	87	40	88	99	16	38	60	33	738
	小計	84	73	56	87	94	44	96	107	18	41	66	35	801
	男性	4	3	2	4	4	2	3	2	3	3	3	2	35
機能改善ヨーガ	女性	56	13	41	55	49	26	55	37	32	45	57	45	511
- ~	小計	60	16	43	59	53	28	58	39	35	48	60	47	546
健康ヨー	男性	20	16	17	17	15	9	19	18	10	12	17	14	184
健康ョーガ	女性	129	99	86	120	109	48	116	118	10	97	123	87	1, 142
(金)	小計	149	115	103	137	124	57	135	136	20	109	140	101	1, 326
	男性	8	4	4	5	4	1	7	7	1	2	5	3	51
シェイプ アップボ	女性	33	24	21	30	29	13	38	31	11	14	16	17	277
クシング							•							
	小計	41	28	25	35	33	14	45	38	12	16	21	20	328
コンディ	男性	7	5	7	8	8	7	14	15	9	8	8	6	102
ショニン グ(金)	女性	42	35	44	47	44	45	52	51	43	36	38	42	519
	小計	49	40	51	55	52	52	66	66	52	44	46	48	621
	男性													
絵手紙	女性	10	11	11	6	5	5	9	8	8	2	1	2	78
	小計	10	11	11	6	5	5	9	8	8	2	1	2	78
	男性													
ハワイアンキルト	女性	10	10	8	13	14	9	13	11	9	10	11	12	130
- 1/4 1	小計	10	10	8	13	14	9	13	11	9	10	11	12	130
合計		1,028	977	732	994	900	547	1,063	1,030	419	712	899	625	9, 926
							<u> </u>			ı	l	l	l	

③目的別教室

目的別教室は、日常的な運動の必要性と食事の改善等を指導しながら安全に減量を行う「減量・脂肪燃焼教室」と、肩や肘に痛みを訴える少年野球選手を減少させることを目的とした「ケガ予防のための『少年野球』クリニック等を開催している。

(ア)減量・脂肪燃焼教室

概要	この教室は、個人にあった運動や食生活の改善により、体脂肪や内臓脂肪を減らし、生活習慣病の予防改善を図ることを目的としている。受付は、年度を通して毎月(12回)申し込めるようになっており、申込者は本人の希望で3か月と6か月コースを選択することができる。教室参加前と終了時に腹部MRIの撮影で脂肪量を測定するのが特徴である。(ただし、3か月コースは教室前のみ実施)医師・科学員・管理栄養士・運動指導員が、SPS(メディカルとフィットネスチェック)の検査(事前と最終回に実施)や測定結果に応じて、日常生活の見直しを行いながら、運動や栄養の指導を行っている。
対象	15 歳以上(中学生は除く)
定員	各 15 人 年間 180 人
運動指導の内容	・トレーニングルームでの運動指導 ・毎週水曜日に一斉指導 ・エアロビクス・エクササイズを中心とした有酸素運動(30~40分程度)、筋 カ系エクササイズ、ストレッチング ・自宅メニューの作成(1週間単位) ・自宅での運動の有無や内容・歩数などについては、個々人の記録を提出して いただいた後、ヒヤリングをしながら指導
栄養指導の内容	・集団講義は教室開始時に実施 約30分 ・個別相談は予約制で1回1人30分として参加者全員1回以上実施 ・教室期間中の自宅メニュー(食事・間食等の記録)とSPSの結果をもとに個々の食生活を見直して目標を決める

表 1 減量·脂肪燃焼教室月別·男女別参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	3		1	1	5	_	2	2	2	4	5	2	27
女性	11	16	10	9	13	11	5	11	9	7	7	3	112
合計	14	16	11	10	18	11	7	13	11	11	12	5	139

(イ) ケガ予防のための「少年野球」クリニック

概要	肩や肘に痛みを訴える少年野球選手を減少させることを目的に、専門スタッフから「フォームチェック」「トレーニング方法」を直接学ぶ。小学生対象は年 10 回実施、中学生対象は年 5 回実施。
対象	小・中学生の野球選手及び保護者・指導者 (チーム対象も実施)
定員	各 30 名 (小・中学生 15 名、大人 15 名)
実施内容	野球選手に起こる肩や肘のケガについてのセミナー実施 個々に超音波検査・全身理学所見の評価・フォームチェックを実施 個人の身体の状態に合わせたトレーニング方法を指導

表 1 ケガ予防のための「少年野球」クリニック参加者数

(単位:人)

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	子ども	0	7	5	9	5	2	9	3	12	5	0	0	57
少年野球クリニック(小学生)	大人(監督、コーチ、保護者)	0	5	4	9	4	1	11	3	11	2	0	0	50
	計(人数)	0	12	9	18	9	3	20	6	23	7	0	0	107
	子ども	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	7
少年野球クリニック(中学生)	大人(監督、コーチ、保護者)	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	計(人数)	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	12
	子ども	14	0	0	0	17	0	0	0	28	29	81	0	169
少年野球クリニック(チーム編)	大人(監督、コーチ、保護者)	1	0	0	0	10	0	0	0	21	31	32	0	95
	計(人数)	15	0	0	0	27	0	0	0	49	60	113	0	264

(ウ)トレーニングルームにおける目的別教室

(単位:人)

											,		• / •/
名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボディメイク・筋力アップ教室	_	78	111	101	_	41	43	41	_	52	65	67	599
ストレッチング&体幹トレーニング	35	27	38	37	41	33	32	32	36	36	45	31	423

4 その他教室・イベント

市民が気軽に参加できる、横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2018 を開催した。(横浜市体育協会管理施設の各所で開催)

表 1 実施内容 (単位:人)

事業	実施内容	参加対象者	開催時間	会場	参加者数
スポ医科 健康 チェック	①体組成 ②骨量 ③最大歩行速度 ④栄養講座	18歳以上	①10:00-12:00 ②13:00-15:00	スポーツ医科学 センターホール	586
	トランポリン・マット・跳び箱・鉄棒の体験教室	児童 (1-6年生)	9:00-10:00		9
体操教室	トランポリンチャレンジ教 室	幼児〜児童 (年少〜6年 生)	10:00-11:00	大アリーナ	36
	親子体操ジムパーク	幼児〜児童 (年少〜6年 生)・保護者	11:00-12:00		42
	幼児水遊び体験会	幼児	9:00-10:00		12
水泳教室	みんなで挑戦!クロール クイックターン練習会	25mクロールが 泳げる 小学生以上	10:00-11:00	25mプール	19
	親子でスポ医科杯	幼児〜児童 (年少〜6年 生)・保護者	11-12:00		30
健康教室	ボディリセット (上半身) ボディリセット (下半身)	16歳以上	10:00~10:45 11:15~12:00	小アリーナ	10 11

(5) 健康に関する講座・講演等事業

鈴川 仁人科長や髙木 久見子(管理栄養士)らが講師となり、それぞれの専門的な観点から健康やスポーツなどに関する講演会を行った。

表 1 講演実績

実施日	講師	内容	依頼先	実施場所	人数
4月7日	指導員	姿勢測定及び一斉指導	一般財団法人日本万歩クラブ	横浜市スポーツ医科学センター	20
5月22日	鈴川科長	スポーツ安全対策分科会	栄区役所	栄区役所本館	15
5月29日	中田·窪田 理学療法士	ロコモ:座学、実技	港北福祉保健センター	港北公会堂	100
6月9日	髙木 管理栄養士	横浜マラソン栄養セミナー:マラソン大会本番3ヶ 月前から食生活で意識すること	栄スポーツセンター	栄スポーツセンター	10
6月9日	髙木 管理栄養士	横浜マラソン栄養セミナー:マラソン大会本番3ヶ月前から食生活で意識すること	南スポーツセンター	南スポーツセンター	10
6月23日	髙木 管理栄養士	横浜マラソン栄養セミナー:マラソン大会本番3ヶ月前から食生活で意識すること	旭スポーツセンター	旭スポーツセンター	10
6月26日	体操教室指導者	体操競技体験への指導	横浜市教育総合相談センター	横浜市スポーツ医科学センター	55
7月4日	髙木 管理栄養士	高校生アスリートのための栄養学:体の変化は 食生活の変化から始まる	桜宮高校	横浜市スポーツ医科学センター	45
8月3日	理学療法士	中高年者対象の指導者講習会	瀬谷区体育協会	瀬谷スポーツセンター	60
9月7日	髙木 管理栄養士	特別授業①:スポーツと栄養基礎編	横浜市立商業高校	横浜市立商業高校	45
9月21日	髙木 管理栄養士	特別授業②:スポーツと栄養実践編	横浜市立商業高校	横浜市立商業高校	45
9月30日	吉久 スポーツ科学員	アスリートチェックデータ報告	株式会社ディー・エヌ・エー 横浜DeNA ランニングクラブアカデミー	株式会社ディー・エヌ・エー セミナールーム(渋谷ヒカリエ)	50
11月12日	髙木 管理栄養士	三島市食育ボランティア団体視察:フレイル予防の食事	三島市食育ボランティア団体キャロットポテトの会	横浜市スポーツ医科学センター	30
2月22日	髙木 管理栄養士	健康経営認証事業所支援事業:コンビニ食品・ 嗜好品と賢く付き合う秘訣	横浜市スポーツ協会	株式会社ソフテックス	15
3月23日	中田·柴田 理学療法士	ランニング障害予防のためのケアの実際	株式会社 横浜DeNA ベイスターズ 横浜DeNA ランニングクラブアカデミー	株式会社ディー・エヌ・エー セミナールーム(渋谷ヒカリエ)	50
	•		•	•	

(6) 市からの委託事業

①腰痛健康診断事業(委託者:横浜市資源循環局)

ごみ収集作業等の従事職員を対象に、腰痛症等の早期発見、早期治療や腰痛予防を目的として、腰痛に関するスクリーニング健診 (1 次健診)、精密健診 (2 次健診)、運動指導等の総合的な検診事業を受託した。

■実施内容

スクリーニング健診 (1 次健診) 315 人 精密健診 (2 次健診) 54 人 運動指導

表 1 運動指導実績

内容	日時	会場	参加者数
腰痛予防講義 運動指導①	平成31年2月7日	資源循環局金沢事務所	23人
腰痛予防講義 運動指導②	平成31年2月15日	資源循環局都筑事務所	23人
腰痛予防講義 運動指導③	平成31年2月21日	資源循環局旭事務所	19人

5

スポーツ振興事業

(1)スポーツ指導者養成

①スポーツ医科学研修

横浜市ジュニア競技力向上事業の一環として、医師やスポーツ科学員などの専門職員が講師となり、スポーツ医科学に関する知識を持つ指導者を養成するとともに、指導者養成の基本的なカリキュラムやテキスト、指導プログラムの作成などを行った。

尚、研修についての詳細は横浜市ジュニア競技力向上事業のページに記載した。

②横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座 企画

横浜市体育協会が実施する指導者養成講座で専門職員による講座を行った。

講演日	講師	内容	依頼先	講演場所	参加者数
6月2日	理学療法士	スポーツリーダー養成講座:ジュニア期のスポーツ	市体協健康づくり事業課	横浜市ス ポーツ医科 学センター	77
6月3日	村山正博顧問	スポーツリーダー養成講 座:スポーツ指導者に必要 な医科学的知識①	市体協健康づくり事業課	横浜市スポーツ医科 学センター	77
6月3日	髙木 管理 栄養士	スポーツリーダー養成講座:スポーツと栄養	市体協健康づくり事業課	横浜市ス ポーツ医科 学センター	77
6月3日	吉久 スポーツ科学員	スポーツリーダー養成講 座:トレーニング論	市体協健康づくり事業課	横浜市ス ポーツ医科 学センター	77

(2)スポーツ医科学に関する研究

①著書等

種別	著書名	出版社	出版年	論文名	執筆者	職種
書籍	整形外科理学療法 ベストガイド	中外医学社	2018	アキレス腱炎	玉置龍也	理学療 法士
書籍	アスレティックリハビリ テーションガイド	文光堂	2018	膝関節障害とそのリハビリ テーション ーバスケットボー ルでの競技復帰・再発予防 プログラムー	清水結	理学療 法士
書籍	アスレティックリハビリ テーションガイド	文光堂	2018	足関節捻挫とそのリハビリ テーション ーバスケットボー ルでの競技復帰・再発予防 プログラムー	中田周兵	理学療 法士
原著	臨床スポーツ医学	文光堂	2018	Jones 骨折発生を予測する 超音波画像の特徴-大学 サッカー選手 132 名の1年 間追跡調査-	松田匠生	理学療法士
原著	日本アスレティックと レーニニング学会誌	日本アスレ ティックトレーニ ング学会	2018	大学男子サッカー選手にお ける方向転換動作の動作方 向が足底圧分布に与える影 響	松田匠生	理学療 法士
総説・解説	臨床スポーツ医学	文光堂	2018	握力・ピンチ力に関連する 筋群の筋力トレーニング	中田周兵	理学療 法士
総説・解説	臨床スポーツ医学	文光堂	2018	CKC トレーニングとインナー マッスル	窪田智史	理学療 法士
ネットニュース	BuzzFeed News	BuzzFeed Japan	2018/5	『「ただのジム」以上「パーソ ナルトレーニング」未満のダ イエット教室の効果は?』 (当センター「減量・脂肪燃 焼教室」の効果について、 取材対応)	長嶋淳三 今川泰憲 小倉孝一	内科医 スポーツ 科学員 指導員
季刊誌	SPORTS よこはま	横浜市体育協 会	2018年8月号	食事で夏バテ予防	髙木久見 子	管理栄 養士
学会誌	トレーニング科学	日本トレーニング科学会	2018年11月号	特集【スポーツ現場における 栄養学の貢献】 障がい者アスリートへの栄養 学の貢献	髙木久見 子	管理栄養士

②講演等

医神疾节	1	<u> </u>		1
主催団体•研修等	開催日	タイトル	講師	職種
横浜商業高校	2018	2018 テーピング実技		理学療法士
横浜商業高校	2018/6/13	下肢のスポーツ障害とその予防	藤堂愛藤堂愛	理学療法士
横浜商業高校	2018/9/10	体幹のスポーツ障害とその予防	藤堂愛	理学療法士
横浜商業高校	2019/3/15	上肢のスポーツ障害とその予防	坂田淳	理学療 法士
地域スポーツ振興部職員研修	2018/6/19	レジスタンス運動	今川泰憲 大田崇央 福田渉	スポーツ科学員
地域スポーツ振興部職員研修	2018/6/19	体力測定と評価	吉久 武志 福田渉 大田崇央	スポーツ 科学員
大分リハビリテーション専門 学校 見学実習	2018/9/28	スポーツ医科学センターにおける スポーツ科学部門の取り組み	吉久武志	スポーツ
横浜DeNAランニングクラブ アカデミー 保護者会	2018/9/30	アスリートチェックデータ報告	吉久武志	スポーツ 科学員
北里大学医療衛生学部 見学実習	2019/2/4	スポーツ医科学センターにおける スポーツ科学部門の取り組み	吉久武志	スポーツ
横浜市体育協会・横浜マラ ソンチャレンジ枠栄養講座 (栄スポーツセンター)	2018/6/9	横浜マラソン本番3ヶ月前からの栄 養面の調整法について	髙木久見子	管理栄養士
横浜市体育協会・横浜マラ ソンチャレンジ枠栄養講座 (南スポーツセンター)	2018/6/9	横浜マラソン本番3ヶ月前からの栄 養面の調整法について	髙木久見子	管理栄養士
横浜市体育協会・横浜マラ ソンチャレンジ枠栄養講座 (旭スポーツセンター)	2018/6/23	横浜マラソン本番3ヶ月前からの栄 養面の調整法について	髙木久見子	管理栄養士
図宮高校サイエンスコース 2018/7/4 実習栄養講習会		高校生アスリートのための栄養学 体の変化は食生活の変化から始ま る	髙木久見子	管理栄 養士
横浜商業高校スポーツマネ ジメント科・特別授業①	2018/9/7	体作りの基本は食事・栄養にあり①	髙木久見子	管理栄 養士
横浜商業高校スポーツマネ ジメント科・特別授業②	2018/9/21	体作りの基本は食事・栄養にあり②	髙木久見子	管理栄 養士

主催団体·研修等	開催日	タイトル	講師	職種
横浜市都筑区中学校健康 教育部会研修	2018/11/5	中学生の部活動における栄養(食 生活)指導	髙木久見子	管理栄 養士
三島市食育ボランティア団 体キャロットポテトの会・視 察研修	2018/11/12	フレイル予防の食事	髙木久見子	管理栄 養士
横浜市体育協会・健康経 営認証事業所への専門家 訪問支援事業	2019/2/22	コンビニ食品・嗜好品と賢くつきあう 秘訣	髙木久見子	管理栄 養士

③学会

学会名	開催日	タイトル	発表者	職種
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	横浜市におけるスポーツ医科学 に基づいた貢献	鈴川仁人	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	多くの女性理学療法士がスポー ツ現場で活躍するために	清水結	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	女性スポーツ理学療法士として の活動と今後の展望	高橋佐江子	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	アスリートに対する物理療法を 活用した治療の実践	玉置龍也	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	筋骨格シミュレーションによる学 童野球選手における肘内側障 害発生の危険因子の検討	坂田淳	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	膝前十字靱帯術前の異常歩行 が術後の歩行動作中の下肢キ ネマティクスに与える影響	中田周兵	理学療 法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	半腱様筋腱を用いた ACL 再建 術後における再生半腱様筋腱 の受動張力〜超音波剪断派エ ラストグラフィを用いた横断研究 〜	菊川大輔	理学療法士
第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会	2018/12/8-9	高校部活動選手におけるコン ディション実態および時期特性	青山真希子	理学療 法士
第 29 回臨床スポーツ医学 会学術集会	2018/11/2-3	学童期野球選手における身体 機能の推移と肘内側障害の危 険因子	坂田淳	理学療 法士

学会名	開催日	タイトル	発表者	職種
第 29 回臨床スポーツ医学 会学術集会	2018/11/2-3	中学校における運動器疾病予防の取り組み第一報:大規模メディカルチェックで明らかとなった中学生膝痛・腰痛罹患率と身体機能の特徴	窪田智史	理学療法士
第44回日本整形外科スポーツ医学会学術集会	2018/9/7-9	半腱様筋腱を用いた ACL 再建 術後における再生半腱様筋腱 の機械的特性〜超音波剪断派 エラストグラフィを用いた横断研 究〜	中田周兵	理学療法士
第44回日本整形外科スポーツ医学会学術集会	2018/9/7-9	学童期野球選手の肘内側障害 に対する投球傷害予防プログラ ムの長期予防効果ー予防プロ グラムに対するコンプライアンス の重要性-	坂田淳	理学療法士
第7回日本アスレティックト レーニング学会	2018/7/7-8	リトルリーグ野球選手におけるスポーツ傷害発生状況の詳細 ーアスレティックトレーナーによる実態把握の取り組みー	坂田淳	理学療 法士
第 10 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	2018/6/14-16	The relationship between 3D joint biomechanics and lower extremity function in ACL-deficient athletes	窪田智史	理学療 法士
第 30 回日本肘関節学会	2018/2/16-17	野球選手における肘関節内側 側副靱帯部分損傷に対する理 学療法の治療成績 - 完全復帰 予後決定因子の検討 -	坂田淳	理学療 法士
American College of Sports Medicine (ACSM)	$2018/5/29$ $\sim 6/2$	Cardiorespiratory fitness, body mass index, and the incidence of dyslipidemia: A cohort study among Japanese women	大田崇央	スポーツ科学員
第73回日本体力医学会大会	$2018/9/7$ $\sim 9/9$	若年成人女性における踵骨 OSI と健康関連体力との関係	今川泰憲	スポーツ 科学員
第73回日本体力医学会大会	$2018/9/7$ $\sim 9/9$	欠測を考慮した体力測定結果 評価手法の提案	小栁玲乃	スポーツ 科学員

4社会的活動

4)社会时泊到				1
主催団体	受任期間	内容	受任者	職種
(公財)神奈川県スポーツ協会	2004~	スポーツ医科学委員会トレーナー 部会員	鈴川仁人	理学療 法士
(公社)神奈川県理学療法士会	2005~ 2014~ 2017~	スポーツ支援部部員	鈴川仁人 玉置龍也 青山真希子	理学療法士
(公財)日本スポーツ協会	2010~	公認アスレティックトレーナー専門 科目 検定試験総合実技試験 WG 委員	鈴川仁人	理学療法士
横浜ビー・コルセアーズ(b リーグ)	2017~ 2014~	トレーナーアドバイザー メディカルトレーナー	玉置龍也 中田周兵	理学療 法士
(公財)日本スポーツ協会	2012~ 2015~ 2015~ 2016~	公認アスレティックトレーナー養成 講習会 専門科目3期集合講習会 講師	鈴川仁人 玉置龍也 永野康治 塩田真史	理学療法士
(公財)日本スポーツ協会	2011~ 2015~ 2016~ 2018~	公認アスレティックトレーナー専門 科目 検定試験総合実技試験 検定員	永野康治 玉置龍也 塩田真史 國次聡史	理学療法士
日本ソフトテニス連盟	2017~	医科学委員	永野康治	理学療 法士
(公財)日本陸上競技連盟	2018~	トレーナー部トレーナー	柴田真子	理学療 法士
一般社団法人 日本キンボールスポーツ連 盟	2014~	育成強化委員会 委員	小野 宣喜	スポーツ 科学員
公益財団法人 全日本スキー連盟	2018~	競技本部専門委員(情報·医·科学 部)	吉久武志	スポーツ 科学員
公益財団法人日本障がい 者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 医科学情報スタッフ(栄養)	2014~	パラリンピック選手の栄養管理・栄養サポート 遠征(国内・海外)帯同	髙木久見子	管理栄養士
公益財団法人日本スケート 連盟フィギュアスケート 医科学ワーキンググループ (栄養士)	2016~	フィギュアスケート選手の栄養管理・栄養サポート 国内合宿帯同	髙木久見子	管理栄 養士
公益財団法人日本卓球協 会 合宿担当栄養スタッフ		パスウェイ事業関東ブロック合宿で の栄養管理・栄養サポート	髙木久見子	管理栄 養士

(3)情報の収集及び提供

①SPORTS よこはま

横浜市体育協会で発行している機関紙「SPORTS よこはま」において、健康に関する情報提供やスポーツに関するコラムを掲載した。

表 1 掲載実績

発行月	執筆者	タイトル	テーマ	職種
2月号	青木治人	特 集	横浜が誇る20周年のスポーツ施設	センター長
6月号	長嶋淳三		熱中症予防 (夏に運動する際の注意)	内科医
8月号	髙木久見子		食事で夏バテ予防	管理栄養士
10月号	吉久武志	季節に応じた スポーツ・健康 ・怪我予防	マラソンを無理なく走る	スポーツ科学員
12月号	清水邦明		「肉離れ」の症状と対処法	整形外科医
2月号	久保田麻紀		ウォーキングで健康づくり	
4月号	窪田智史		中学校におけるスポーツのけが予防の取り組み	理学療法士
6月号			バスケットボールでの頭部外傷	
8月号			体幹トレーニング	理学療法士
10月号	中田田丘	ビーコル日誌	新シーズンの幕開け	
12月号	中田周兵 12月号		バスケットボールに多い成長期のけが①オスグット病	
2月号			バスケットボールに多い成長期のけが②腰椎分離症	
4月号			バスケットボールに多い成長期のけが③膝前十字靱帯損傷	

②横浜市スポーツ医科学センターWeb ページ

横浜市スポーツ医科学センターの利用案内に加えて、それぞれの分野からのコラムや蓄積 してきたデータなどの情報提供を行った。

表 1 掲載実績 企画

掲載月	執筆者		内容	職種							
4月						~瀬戸屋敷ひな祭り編~ 旬の食材を使ったレシピ					
5月				~横浜市いちご狩り編~ 旬の食材を使ったレシピ							
6月			~夏バテ予防編~ 旬の食材を使ったレシピ								
7月		ヘルシーレシピ	~ビール工場見学編~ 旬の食材を使ったレシピ								
8月									~梨・ぶどう狩り編~ 旬の食材を使ったレシピ		
9月	高木久見子		~秋刀魚料理献立編~ 旬の食材を使ったレシピ	 							
10月	尚不久兄士		~\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	~横浜マラソン2018編~ 旬の食材を使ったレシピ	管理栄養士						
11月			~しいたけ狩り編~ 旬の食材を使ったレシピ								
12月			~年末年始お酒対策編~ 旬の食材を使ったレシピ								
1月			~中央卸売市場市民一般開放編~ 旬の食材を使ったレシピ								
2月			~蒲鉾かざり編~ 旬の食材を使ったレシピ								
3月			~TOKYO STRABERRY PARK編~ 旬の食材を使ったレシピ								
12月	菊川大輔	リハビリ室コラム	第5回日本理学療法学会学術大会 参加記	理学療法士							

③ライブラリー

スポーツ医科学専門ライブラリーにはスポーツ医科学に関する多くの書籍を置き、市民に 開放している。

表1 主な蔵書

和書	最新心電学・医学大辞典・看護学大辞典・解剖生理学・ナース内科学 ほか
洋書	Sports-Medicine・ORTHOPA-EDIC-AND-SPORTS・PHYSICAL-THERAPY:ets ほか
雑誌	AMERICAN-JOURNAL-OP-MEDI-CINE・臨床栄養・心臓・ナース専科 ほか
CD	A.D.A.M インタラクティブ解剖学・医療用薬品集 CD-ROM 検索システム ほか

(4)施設の提供

①施設貸出

大アリーナ・小アリーナ・研修室を目的に合わせて貸出を行っている。

(ア) アリーナ

施設名	面積	利用用途				
大アリーナ	930 m²	器械体操(体操設備常設)				
小アリーナ	460 m²	エアロビクス・ダンス・軽運動 など				

表1 大アリーナ・小アリーナ月別利用者数

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3 月	合計
2, 909	2, 764	6, 638	3, 933	2, 058	2, 651	1,863	2, 775	3, 863	2, 018	2, 164	3, 368	37, 004

(イ) 研修室

施設名	面積	収容人数	利用用途
大研修室	250 m²	135 人	研修室・発表会・会議など
中研修室	140 m²	81 人	切修主・光衣云・云磯 なこ
会議室	60 m²	16 人	会議・打ち合わせ など

表 2 大研修室・中研修室・会議室月別利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2 月	3 月	合計
5, 045	4, 514	6, 244	4, 388	2, 174	2, 639	4, 535	3, 127	3, 839	3, 321	4, 119	4, 318	48, 263

(ウ) イベントへの貸出

イベント名	開催日	貸出施設	利用者数
第6回 ビギナーズトライアス ロン in 日産スタジアム	2018/7/22	25mプール(スイム会場として)	189 人
横浜地域ABC級記録会	2018/9/30	25mプール、小アリーナ、大研 修室、中研修室、会議室、ギャ ラリー	798 人

2個人利用

SPS 受診者や一般利用者を対象に、トレーニングルームと 25m 室内温水プールを健康の維持・増進を目的として個人利用に提供している。

(ア)トレーニングルーム

_	** * - * *	
	利用対象者	・原則として 15 歳以上の方(中学生は利用不可) ・トレーニングルーム利用者講習会を受けた方 ・リハビリテーションや MEC を利用している人または利用していた方で、医 師がトレーニングの実施を許可した方
	利用料金	1回1,000円
	利用者講習会	初めてトレーニングルームを利用する方を対象に、トレーニングルームの利用方法や各種のトレーニング方法・マシンの取り扱い方法を講習会形式で実施している。

表1 トレーニングルーム月別利用者数

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1, 518	1,638	1, 704	1, 743	1,727	1,719	1, 688	1,643	1,506	1, 563	1, 587	1,722	19, 758

[※]個人利用のみで教室等での利用人数は含まない

表 2 トレーニングルーム利用講習会月別参加者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
32	48	33	38	31	32	37	30	15	54	29	31	410

(イ) 25m室内温水プール

(1/20112134	
利用対象者	 ・原則として13歳以上の方 ※13歳未満の方は、1人につき成人1人の同伴が必要。ただし、オムツの 取れていない方は利用不可 ・25mを泳げる方 ・体調に不安の無い方
利用料金	1 回 600 円

表3 25mプール月別利用者数

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2, 887	2,972	2, 579	3, 755	2, 926	2, 790	2,920	2, 424	1,688	2, 118	2,044	2,877	31, 980

[※]個人利用のみで教室等の利用人数は含まない

(5) スポーツ大会、イベントでの PR・連携事業(企画)

スポ医科出張相談会

■実施内容

市民参加のイベント・大会等にスタッフが直接出向き、施設・各種事業の紹介を行う。 また、理学療法士 (PT) によるケガ等の個別無料相談を実施する。

■実施結果

		(112.74)
実施日	大会名等	相談者
7月22日	ビギナーズトライアスロン (日産スタジアム)	11
8月4~5日	ビーチスポーツフェスタ (金沢海の公園)	93
9月30日	シーサイドトライアスロン(金沢海の公園)	21
10月28日	よこはまマラソン(展示ホール)	112
1月6日	港北駅伝(新横浜公園)	10

6

競技選手の競技力向上事業

(1) 専門的体力測定・スキルチェック等

競技選手(競技力の向上を目指している方:一般スポーツ愛好家からトップレベルの選手までを含む)に対するサービスとして、より専門的な体力測定やスキルチェック(フォームの撮影・分析等)を実施している。トレーニング内容の検討やその効果の検証、競技特有の動作の分析など、要望に応じて実施内容・方法を検討している。

■主な測定内容

形態・体組成	肢長・周径囲、皮脂厚、体脂肪率 など
全身持久力	最大酸素摂取量、乳酸閾値(LT) など ランニング測定として一般ランナー向けに乳酸閾値を測定
筋力・瞬発力	等速性筋力、最大無酸素パワー、跳躍力 など
スキルチェック	アライメントチェック・フォーム撮影・動作分析 など

表 1 体力測定月別利用人数

(単位	:	人)

												(+)11.	/ //
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
形態·体組成	75	46	153	190	10	17	3	8	66	34	87	117	806
全身持久力	24	59	30	36	54	31	57	34	52	28	34	22	461
うちランニング測定	16	11	10	10	7	8	12	16	12	11	12	14	139
筋力・瞬発力	19	2	46	159	16	11	3	6	97	41	63	34	497
スキルチェック	13	7	5	7	3	6	10	9	8	9	4	7	88
合 計	131	114	234	392	83	65	73	57	223	112	188	180	1, 852

※形態・体組成にはパワーアップ MRI を含む

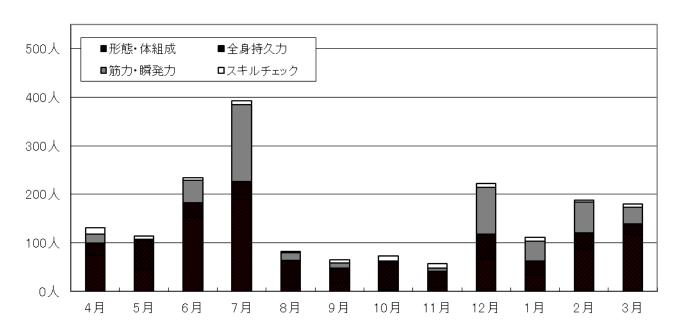


表 2 競技種目別·測定内容別人数

20 元汉性口川	2 就没怪日別 例足内看别人致										
		測	定	内	容						
種目	性別	形 態 · 体 組 成	全身持久力	筋力・ 瞬発力	スキルチェッ ク	計					
陸上	男性	51	156	44	69	320					
座工.	女性	7	49	11	19	86					
サッカー	男性	290	7	57	_	354					
992	女性	28	_	21	_	49					
野球	男性	87	6	104	_	197					
当	女性					_					
体操	男性	47	_	24	_	71					
件1未	女性	67	_	34	_	101					
スキー	男性	2	80	5	_	87					
	女性	1	25	3	_	29					
ゴールボール	男性										
	女性	48	12	36	_	96					
ボート	男性	14	14	_	_	28					
71.	女性	25	22	_	_	47					
水泳	男性	26	4	24	_	54					
71474	女性	6	4	9	_	19					
その他	男性	60	45	61	_	166					
C 47 IE	女性	47	37	64	<u> </u>	148					
	男性	577	312	319	69	1, 277					
合計	女性	229	149	178	19	575					
	計	806	461	497	88	1,852					

表 3 競技種目別 - 年齢別人数

(単位:人)

種目	性別-			年		齢	ì		区			分			計
性 日	1生万月	\sim 19	\sim 24	~29	~34	~39	~44	~49	\sim 54	\sim 59	\sim 64	~69	\sim 74	75~	iΤ
陸上	男性	136	3	4	18	16	26	29	39	25	11	8	5	_	320
	女性	15	20	5	_	_	4	12	8	13	9	—	—	_	86
サッカー	男性	352	2	—	_	_	—	_	_	—	_	_	_	_	354
	女性	49	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	49
野球	男性	176	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		197
判以	女性	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
体操	男性	71													71
件法	女性	101	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	101
スキー	男性	44	31	8	4	—	—	—	—	—	—	—	_		87
	女性	14	15	_	_	_	—	_	_	—	_	_	_	_	29
ゴールボール	男性														
	女性	24	24	24	8	_	16	_	_	—	_	_	_	_	96
ボート	男性	28													28
21, 1,	女性	44	_	_	_	3	_	_	_	_	_	_	_	_	47
水泳	男性	54													54
/N//N	女性	19	_	—	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	19
その他	男性	101	41	7	16					1					166
CANIE	女性	113	14	_	21	_	_	_	_	_	_	_	_	_	148
	男性	962	98	19	38	16	26	29	39	26	11	8	5		1, 277
合計	女性	379	73	29	29	3	20	12	8	13	9				575
	計	1, 341	171	48	67	19	46	41	47	39	20	8	5	_	1, 852

(2) 横浜市ジュニア競技力向上事業

1概要

医学及びスポーツ科学の観点から横浜市内における子どものスポーツ傷害予防と競技力向上を目的とした「ジュニア医科学マルチサポート」とジュニア指導者の質向上を目的としたスキルアップ事業「スポーツ医科学研修」を実施した。なお、本事業は以下の内容で構成した。

②事業構成

(ア) ジュニア医科学マルチサポート

○スポーツ科学サポート

医学検査と体力測定からなるジュニア SPS、高度な測定・分析機器 (3D モーションキャプチャシステム・呼気ガス分析装置等)を使用した体力や動作の分析、競技会や練習・合宿会場におけるフォーム撮影などを実施する体制を準備した。各競技団体からのサポート申請をもとに実施内容等を協議・調整し、実施した。

○少年野球メディカルチェック

野球肘等のケガ予防プログラムを開発し、普及させるため港北区・鶴見区内少年野球 チームを対象にスポーツ医科学センタークリニックにおいてメディカルチェックを実 施した。

○医科学研修

ジュニア指導者を対象者に、成長期にある子どもたちへ健全で効果的な指導を行うために必要な医科学的知識・情報の研修を実施した。

(イ) 未来のスポーツリーダー養成事業

トップアスリートやスポーツ指導者などを目指す中高生を対象に科学的データに基づいたスポーツ教育講座を実施し、怪我の予防や正しいトレーニング方法を指導することで、未来のスポーツリーダーを育成し、横浜市のスポーツ環境の充実を図った。

日程	講師	内容	依頼先	開催場所	参加 者数
3月2日	髙木久見子	未来のスポーツリーダー養成 講座:パフォーマンス向上と怪 我予防のための食事	横浜市体育協会	横浜銀行アイ スアリーナ	60

③実施期間

平成 30 年 5 月~平成 31 年 3 月

4実施内容

(ア) 競技団体の要望に応じた医科学サポート活動の実施(科学)

競技団体	内容						
別(又凹)中	り、一	者数					
空手	◆強化選手のフィットネスチェック(縦断的変化の確認)および食事調査・指導	8					
体操	◆小・中学生選手の形態計測・フィットネスチェック						
	(幅広い年代を対象とした基礎データの収集と縦断的変化の確認)						

(イ) 少年野球メディカルチェック

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	子ども	0	7	5	9	5	2	9	3	12	5	0	0	57
少年野球クリニック(小学生)	大人(監督、コーチ、保護者)	0	5	4	9	4	1	11	3	11	2	0	0	50
	計(人数)	0	12	9	18	9	3	20	6	23	7	0	0	107
	子ども	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	7
少年野球クリニック (中学生)	大人(監督、コーチ、保護者)	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	計(人数)	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	12
	子ども	14	0	0	0	17	0	0	0	28	29	81	0	169
少年野球クリニック (チーム編)	大人(監督、コーチ、保護者)	1	0	0	0	10	0	0	0	21	31	32	0	95
	計(人数)	15	0	0	0	27	0	0	0	49	60	113	0	264

(ウ) 医科学研修(ジュニア選手指導のためのスポーツ医科学講座)

日程	内容	講師	参加者数
1月19日	テーピング講座 (第1回)ケガについての基礎知識		6
1月26日	テーピング講座 (第2回)足関節のテーピング	リハビリテーション科 松田 匠生	8
2月2日	テーピング講座 (第3回)膝関節のテーピング		11
2月16日	スポーツリズムトレーニング講座	横浜市体育協会 指導員 岸 由起夫	15
3月30日	指導者のための開脚跳び&逆上がり講座	横浜市スポーツ医科学センター 体操競技選手コース 指導コーチ (代表:伊藤)	22

(エ) 未来のスポーツリーダー養成事業

日程	内容	講師	参加者数		
		「少年サッカー選手の怪我」 横浜F・マリノス トップチームチーフドクター 医師 深井 厚			
		「小・中学生に起こりやすい怪我とセルフチェック方法」 横浜市スポーツ医科学センター リハビリテーション科 理学療法士 松田 匠生			
11月4日	少年サッカー選手のためのケガ予防講座	「プロサッカー選手になるために」 横浜F・マリノス 選手 中町 公祐	52		
		「育成年代の選手に必要な動き」 横浜F・マリノス コンディショニングコーチ コーチ 安野 努			
		「キックのけり方講習【実技】」 横浜F・マリノス			
		「フィギュアスケート選手に起こりやすいケガとその予防」 船橋整形外科市川クリニック 理学療法士 阿部 愛			
	フィギュアスケート講座	「パフォーマンス向上とケガ予防のための食事」 横浜市スポーツ医科学センター 管理栄養士 髙木 久見子			
3月2日		「選手を目指すあなたに【講義】」 日本フィギュアスケートインストラクター協会会長 KOSE新横浜スケートセンターヘッドコーチ 佐藤 信夫	82		
		「育成年代の選手に身につけてほしいフィギュアスケーティング」 【実技】 日本フィギュアスケートインストラクター協会会長 KOSE新横浜スケートセンターヘッドコーチ 佐藤 信夫			

(3)「横浜ビー・コルセアーズ」サポート

1概要

横浜市を拠点として活動するプロスポーツ選手の競技力向上支援の一環として、平成 23 年 10 月から立ち上がったプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のメディカルサポートを実施した。

②事業目的

- ・専門的な医療機関・スタッフによる全面的メディカルサポート
- ・理学療法士の帯同による外傷・障害への迅速かつ適切な対応
- ・ネットワーク作成や外傷管理ファイルの提供による情報共有システムの構築
- ・サポート活動を通した、メディア等の露出によるセンターPR

③従事者

チームドクター:スポーツ医科学センター整形外科医(清水 邦明、赤池 敦) ほかメディカルトレーナー:スポーツ医科学センター理学療法士(玉置 龍也、中田 周兵)

4)実施内容

(ア) 実施期間

平成 30 年 8 月 1 日~平成 31 年 4 月 13 日

(イ)チーム成績

レギュラーシーズン 14 勝 46 敗 (中地区 6 位/6 チーム、総合順位 16 位/18 チーム)

(ウ) 医科学サポート実績

メディカルチェック、診療、リハビリ

(エ)メディカルスタッフ帯同実績

- ・チームドクター:ホームゲーム30試合
- ・メディカルトレーナー:ホームゲーム30試合(別に練習帯同あり)

(オ)情報共有システムサポート

情報共有システム:組織間連絡、施設利用報告、チーム日報などについて、メーリング リストを活用

(カ)情報発信

季刊誌 SPORTS よこはま連載 (全6回掲載)

「横浜ビー・コルセアーズメディカルトレーナーの現場から」

 \Rightarrow https://www.hamaspo.com/s-yoko

(4)「横浜市立横浜商業高等学校スポーツマネジメント科」サポート(企画)

①概要

平成23年3月に横浜市が策定した「横浜市立高等学校 教育振興プログラム」を受け、 平成26年4月に設置された「横浜市立横浜商業高等学校スポーツマネジメント科」のメディカルサポートを実施した。

②事業目的

横浜市立横浜商業高等学校スポーツマネジメント科の教育内容及び競技力向上に向けた 専門的知識やノウハウの提供による医科学サポートの実施

3従事者

個別相談:スポーツ医科学センター理学療法士

(坂田淳、青山真希子、藤堂愛)

特別講義:スポーツ医科学センター内科医(長嶋淳三)

スポーツ医科学センター理学療法士 (坂田淳、青山真希子、藤堂愛)

スポーツ医科学センター管理栄養士(髙木久見子)

体力測定データ分析:スポーツ医科学センタースポーツ科学員(吉久武志)

4実施内容

(ア) 競技力向上の支援

個別相談 のべ846人

(イ) データ分析

授業の一環として受診する SPS のメディカルチェック及びフィジカルチェックデータの分析を行い、授業におけるプログラム作成等に活用

SPS 受診 1年生39人、2年生38人、3年生39人

(ウ) 講師派遣

特別講義 6回実施

横浜市スポーツ医科学センター年報 第21号

発 行 者 公益財団法人横浜市スポーツ協会

横浜市スポーツ医科学センター 事務管理部 〒222-0036 横浜市港北区小机町 3302-5

Tel:045-477-5050 (代表)

ホームページ http://yspc-ysmc.jp/

発 行 年 月 令和5年10月